



福祉選好調査2023（2・完）：
データの概要とコードブック

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 大阪公立大学法学会 公開日: 2025-01-28 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 稗田, 健志, 関, 能徳, 楊, 建陽 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.24729/0002001566

〈資料〉

福祉選好調査2023（2・完）

——データの概要とコードブック——

稗 田 健 志
関 能 徳
楊 建 陽

目 次

- 1 調査の目的
- 2 先行研究における位置づけ
- 3 調査の実施方法
 - 3.1 研究倫理と個人情報保護
 - 3.2 調査の設計
 - 3.3 フィールドワーク
- 4 調査結果の概要
 - 4.1 コンジョイント実験
 - 4.2 ポイント配分法
 - 4.3 トレードオフ質問法
 - 4.4 福祉政策への態度と福祉プログラムの経験
 - 4.5 政治家と政党に対する認識
 - 4.6 社会的地位と機会に対する認識 (以上、71巻1号)
- 5 変数一覧：質問番号と変数名
- 6 コードブック
 - 6.1 パート0—割り当て
 - 6.2 パート1—政策位置
 - 6.3 パート2—コンジョイント
 - 6.4 パート3—優先順位
 - 6.5 パート4—態度
 - 6.6 パート5—投票行動
 - 6.7 パート6—福祉国家との接触
 - 6.8 パート7—政党の認識

資 料

- 6.9 パート8—社会人口統計
- 6.10 【コンジョイント選択肢】
- 7 教示操作チェック (Instructional Manipulation Checks)
 - 7.1 IMC1 (Q4.1の直後に)
 - 7.2 IMC2 (Q5.2の直後に)
- 8 参考文献一覧 (以上、本号)

5 変数一覧：質問番号と変数名

パート0—割り当て

質問 番号	変数名略記	変数名
Q0a	age	年齢
Q0b	sex	性別
Q0c	educ	教育水準
Q0d	lm	就業の有無

パート1—政策位置

質問 番号	変数名略記	変数名
Q1.1	pos_e_pen	年金拡充に対する位置
	pos_e_cc	保育拡充に対する位置
	pos_e_educ	高等教育拡充に対する位置
	pos_e_ub	失業給付拡充に対する位置
	pos_e_almp	積極的労働市場政策拡充に対する位置
	pos_e_socass	社会扶助拡充に対する位置
Q1.2	pos_r_pen	年金削減に対する位置
	pos_r_cc	保育削減に対する位置
	pos_r_educ	高等教育削減に対する位置
	pos_r_ub	失業給付削減に対する位置
	pos_r_almp	積極的労働市場政策削減に対する位置
	pos_r_socass	社会扶助削減に対する位置
Q1.3	to_real	トレードオフの認識
Q1.4	fc_real	財政制約の認識

福祉選好調査2023（2・完）（稗田・関・楊）

パート2—コンジョイント

質問 番号	変数名略記	変数名
Q2.1	Q211	コンジョイント拡充パッケージ選択（1回目）
Q2.2	Q221_1	コンジョイン拡充案A支持度合い（1回目）
Q2.3	Q231_1	コンジョイン拡充案B支持度合い（1回目）
Q2.1	Q212	コンジョイント拡充パッケージ選択（2回目）
Q2.2	Q222_1	コンジョイン拡充案A支持度合い（2回目）
Q2.3	Q232_1	コンジョイン拡充案B支持度合い（2回目）
Q2.1	Q213	コンジョイント拡充パッケージ選択（3回目）
Q2.2	Q223_1	コンジョイン拡充案A支持度合い（3回目）
Q2.3	Q233_1	コンジョイン拡充案B支持度合い（3回目）
Q2.4	Q241	コンジョイント削減パッケージ選択（1回目）
Q2.5	Q251_1	コンジョイン削減案A支持度合い（1回目）
Q2.6	Q261_1	コンジョイン削減案B支持度合い（1回目）
Q2.4	Q242	コンジョイント削減パッケージ選択（2回目）
Q2.5	Q252_1	コンジョイン削減案A支持度合い（2回目）
Q2.6	Q262_1	コンジョイン削減案B支持度合い（2回目）
Q2.4	Q243	コンジョイント削減パッケージ選択（3回目）
Q2.5	Q253_1	コンジョイン削減案A支持度合い（3回目）
Q2.6	Q263_1	コンジョイン削減案B支持度合い（3回目）

パート3—優先順位

質問 番号	変数名略記	変数名
Q3.1		
	to1	トレードオフ（世代間年金）
	to2	トレードオフ（保育サービス対児童手当）
	to3	トレードオフ（失業給付対年金）
	to4	トレードオフ（高等教育における再分配）
	to5	トレードオフ（移民統合サービス対年金）
	to6	トレードオフ（積極的労働市場政策対年金）
	to7	トレードオフ（保育サービス対年金）
Q3.2		
	prio_r_e_pen1	拡充優先度（年金最低支給額）
	prio_r_e_pen2	拡充優先度（年金受給者全体）
	prio_r_e_cc1	拡充優先度（低所得世帯保育）

資 料

prio_r_e_cc2	拡充優先度 (保育サービス全体)
prio_r_e_educ1	拡充優先度 (高等教育全体)
prio_r_e_educ2	拡充優先度 (低所得世帯高等教育)

Q3.3

prio_f_e_pen	拡充優先度 (老齢年金)
prio_f_e_cc	拡充優先度 (保育サービス)
prio_f_e_educ	拡充優先度 (高等教育)
prio_f_e_ub	拡充優先度 (失業給付)
prio_f_e_almp	拡充優先度 (積極的労働市場政策)
prio_f_e_migr	拡充優先度 (移民統合サービス)

Q3.4

prio_r_r_pen1	削減優先度 (年金受給者全体)
prio_r_r_pen2	削減優先度 (年金支給上限額)
prio_r_r_cc1	削減優先度 (中高所得世帯保育)
prio_r_r_cc2	削減優先度 (保育サービス全体)
prio_r_r_educ1	削減優先度 (中高所得世帯高等教育)
prio_r_r_educ2	削減優先度 (高等教育全体)

Q3.5

prio_f_r_pen	削減優先度 (老齢年金)
prio_f_r_cc	削減優先度 (保育サービス)
prio_f_r_educ	削減優先度 (高等教育)
prio_f_r_ub	削減優先度 (失業給付)
prio_f_r_almp	削減優先度 (積極的労働市場政策)
prio_f_r_migr	削減優先度 (移民統合サービス)

パート4—態度

質問 番号	変数名略記	変数名
Q4.1	fairsoc	公正な社会の所得格差基準
	socstrain	福祉の経済的制約
	govrespar	勤労世帯サポートの政府責任
	investeduc	教育投資の政府責任
	migrnc	移民脅威 (文化)
	gayadopt	同性愛カップルの養子縁組

福祉選好調査2023（2・完）（稗田・関・楊）

	famlife	女性のフルタイム就労と家庭生活
	migr1m	移民脅威（労働市場）
	euintegr	欧州統合の行き過ぎ
	govppl	政府責任と国際公約
Q4.2	lrscale	左右位置
Q4.3	soctrst	一般的信頼
Q4.4	statecap	国家能力の認識
Q4.5	poltrst	政治家に対する信頼
Q4.6		
	lngtrmsup_A	2年間の教育大規模改革（ランダム化試験）
	lngtrmsup_B	15年間の教育大規模改革（ランダム化試験）
	lngtrmsup_C	2年間の年金大規模改革（ランダム化試験）
	lngtrmsup_D	15年間の年金大規模改革（ランダム化試験）
Q4.7	evalws	福祉支出の効率性認識
Q4.8	livingstd	生活水準改善の認識
Q4.9	autom	自動化脅威認識
Q4.10	sss	主観的社会的地位
Q4.11	socmob	主観的社会移動
Q4.12	lngtrmeval	日本の生活水準改善の認識

パート5—投票行動

質問 番号	変数名略記	変数名
Q5.1	party	投票先政党（現在）
Q5.2	polintr	政治関心
Q5.3	prtcp	投票参加
Q5.4	lastelect	投票先政党（前回国政選挙）

パート6—福祉国家との接触

質問 番号	変数名略記	変数名
Q6.1	wsntctt	福祉サービス雇用者の評価
Q6.2	wsexp	福祉給付・サービス受給の有無

資 料

パート7—政党の認識

質問 番号	変数名略記	変数名
Q7.1	congr	政治的意思決定者との一致度合い
Q7.2	party_x1	Q7.2およびQ7.3で割り当てられた政党X1
および		
Q7.3		
Q7.2	eval_e_p1_pen	政党X1の拡充優先度 (老齢年金)
	eval_e_p1_c	政党X1の拡充優先度 (保育サービス)
	eval_e_p1_educ	政党X1の拡充優先度 (高等教育)
	eval_e_p1_ub	政党X1の拡充優先度 (失業給付)
	eval_e_p1_almp	政党X1の拡充優先度 (積極的労働市場政策)
	eval_e_p1_migr	政党X1の拡充優先度 (移民統合サービス)
Q7.3		
	eval_r_p1_pen	政党X1の削減優先度 (老齢年金)
	eval_r_p1_c	政党X1の削減優先度 (保育サービス)
	eval_r_p1_educ	政党X1の削減優先度 (高等教育)
	eval_r_p1_ub	政党X1の削減優先度 (失業給付)
	eval_r_p1_almp	政党X1の削減優先度 (積極的労働市場政策)
	eval_r_p1_migr	政党X1の削減優先度 (移民統合サービス)
Q7.4	party_x2	Q7.4とQ7.5で割り当てられた政党X2
および		
Q7.5		
Q7.4	eval_e_p2_pen	政党X2の拡充優先度 (老齢年金)
	eval_e_p2_c	政党X2の拡充優先度 (保育サービス)
	eval_e_p2_educ	政党X2の拡充優先度 (高等教育)
	eval_e_p2_ub	政党X2の拡充優先度 (失業給付)
	eval_e_p2_almp	政党X2の拡充優先度 (積極的労働市場政策)
	eval_e_p2_migr	政党X2の拡充優先度 (移民統合サービス)
Q7.5		
	eval_r_p2_pen	政党X2の削減優先度 (老齢年金)
	eval_r_p2_c	政党X2の削減優先度 (保育サービス)
	eval_r_p2_educ	政党X2の削減優先度 (高等教育)
	eval_r_p2_ub	政党X2の削減優先度 (失業給付)
	eval_r_p2_almp	政党X2の削減優先度 (積極的労働市場政策)
	eval_r_p2_migr	政党X2の削減優先度 (移民統合サービス)

福祉選好調査2023（2・完）（稗田・関・楊）

パート8—社会人口統計

質問 番号	変数名略記	変数名
Q8.1	citizen	日本国籍
Q8.2	tumembr	労働組合員
Q8.5	parent	子供的人数
Q8.6.1	chldrnage	子供の年齢
Q8.6.2	lwstchage	一番下の子供の年齢
Q8.7	chldrnfm	女性の子供的人数
Q8.8	emplsit	現在の雇用形態
Q8.9	prttime	就労形態（フルタイム／パート）
Q8.10	wrkhrs	週労働時間
Q8.11	prttimvol	契約労働時間数増加の希望
Q8.12	employees	従業員数
Q8.13	occ1	現職種
Q8.14	occ2	業種・企業規模
Q8.15	occ3	地位・役職
	isco08	ISCO08コード（本人）
Q8.16	sector	就労セクター
Q8.17	oppecon	定年まで安定就労の可能性（本人）
Q8.18	oppsoc	充実した人生の可能性（本人）
Q8.19	oppeconkid	定年まで安定就労の可能性（子供）
Q8.20	oppsockid	充実した人生の可能性（子供）
Q8.21	oppeconkids	定年まで安定就労の可能性（子供複数）
Q8.22	oppsockids	充実した人生の可能性（子供複数）
Q8.23	jobkid	子供の現職種
Q8.24	jobkids	子供の現職種（複数）
Q8.25	spouse	配偶者／パートナーとの同居の有無
Q8.26	earner	世帯内の主な稼得者
Q8.27	emplsit_sp	配偶者の現在の雇用形態
Q8.28	prttime_sp	配偶者の就労形態（フルタイム／パート）
Q8.29	wrkhrs_sp	配偶者の週労働時間
Q8.30	occ1_sp	配偶者の現職種
Q8.31	occ2_sp	配偶者の業種・企業規模
Q8.32	occ3_sp	配偶者の地位・役職
	isco08p	ISCO08コード（配偶者／パートナー）
	class8_isco08	職業階級8分類
Q8.33	chldrnsp	子供の日常的支援

資 料

Q8.34	prntsups	親の日常的支援
Q8.35	income	年間世帯所得

【コンジョイント選択肢】

変数名 略記	変数名
F 11	コンジョイント拡充パッケージ項目1のインディケータ (1回目)
F 111	コンジョイント拡充案A項目1 (1回目)
F 12	コンジョイント拡充パッケージ項目2のインディケータ (1回目)
F 112	コンジョイント拡充案A項目2 (1回目)
F 13	コンジョイント拡充パッケージ項目3のインディケータ (1回目)
F 113	コンジョイント拡充案A項目3 (1回目)
F 14	コンジョイント拡充パッケージ項目4のインディケータ (1回目)
F 114	コンジョイント拡充案A項目4 (1回目)
F 15	コンジョイント拡充パッケージ項目5のインディケータ (1回目)
F 115	コンジョイント拡充案A項目5 (1回目)
F 16	コンジョイント拡充パッケージ項目6のインディケータ (1回目)
F 116	コンジョイント拡充案A項目6 (1回目)
F 121	コンジョイント拡充案B項目1 (1回目)
F 122	コンジョイント拡充案B項目2 (1回目)
F 123	コンジョイント拡充案B項目3 (1回目)
F 124	コンジョイント拡充案B項目4 (1回目)
F 125	コンジョイント拡充案B項目5 (1回目)
F 126	コンジョイント拡充案B項目6 (1回目)
F 21	コンジョイント拡充パッケージ項目1のインディケータ (2回目)
F 211	コンジョイント拡充案A項目1 (2回目)
F 22	コンジョイント拡充パッケージ項目2のインディケータ (2回目)
F 212	コンジョイント拡充案A項目2 (2回目)
F 23	コンジョイント拡充パッケージ項目3のインディケータ (2回目)
F 213	コンジョイント拡充案A項目3 (2回目)
F 24	コンジョイント拡充パッケージ項目4のインディケータ (2回目)
F 214	コンジョイント拡充案A項目4 (2回目)
F 25	コンジョイント拡充パッケージ項目5のインディケータ (2回目)
F 215	コンジョイント拡充案A項目5 (2回目)
F 26	コンジョイント拡充パッケージ項目6のインディケータ (2回目)
F 216	コンジョイント拡充案A項目6 (2回目)
F 221	コンジョイント拡充案B項目1 (2回目)
F 222	コンジョイント拡充案B項目2 (2回目)

福祉選好調査2023（2・完）（稗田・関・楊）

F 223	コンジョイン拡充案B項目3（2回目）
F 224	コンジョイン拡充案B項目4（2回目）
F 225	コンジョイン拡充案B項目5（2回目）
F 226	コンジョイン拡充案B項目6（2回目）
F 31	コンジョイント拡充パッケージ項目1のインディケータ（3回目）
F 311	コンジョイン拡充案A項目1（3回目）
F 32	コンジョイント拡充パッケージ項目2のインディケータ（3回目）
F 312	コンジョイン拡充案A項目2（3回目）
F 33	コンジョイント拡充パッケージ項目3のインディケータ（3回目）
F 313	コンジョイン拡充案A項目3（3回目）
F 34	コンジョイント拡充パッケージ項目4のインディケータ（3回目）
F 314	コンジョイン拡充案A項目4（3回目）
F 35	コンジョイント拡充パッケージ項目5のインディケータ（3回目）
F 315	コンジョイン拡充案A項目5（3回目）
F 36	コンジョイント拡充パッケージ項目6のインディケータ（3回目）
F 316	コンジョイン拡充案A項目6（3回目）
F 321	コンジョイン拡充案B項目1（3回目）
F 322	コンジョイン拡充案B項目2（3回目）
F 323	コンジョイン拡充案B項目3（3回目）
F 324	コンジョイン拡充案B項目4（3回目）
F 325	コンジョイン拡充案B項目5（3回目）
F 326	コンジョイン拡充案B項目6（3回目）
F 41	コンジョイント削減パッケージ項目1のインディケータ（1回目）
F 411	コンジョイン削減案A項目1（1回目）
F 42	コンジョイント削減パッケージ項目2のインディケータ（1回目）
F 412	コンジョイン削減案A項目2（1回目）
F 43	コンジョイント削減パッケージ項目3のインディケータ（1回目）
F 413	コンジョイン削減案A項目3（1回目）
F 44	コンジョイント削減パッケージ項目4のインディケータ（1回目）
F 414	コンジョイン削減案A項目4（1回目）
F 45	コンジョイント削減パッケージ項目5のインディケータ（1回目）
F 415	コンジョイン削減案A項目5（1回目）
F 46	コンジョイント削減パッケージ項目6のインディケータ（1回目）
F 416	コンジョイン削減案A項目6（1回目）
F 421	コンジョイン削減案B項目1（1回目）
F 422	コンジョイン削減案B項目2（1回目）
F 423	コンジョイン削減案B項目3（1回目）
F 424	コンジョイン削減案B項目4（1回目）

資 料

- F 425 コンジョイン削減案B項目5 (1回目)
F 426 コンジョイン削減案B項目6 (1回目)
F 51 コンジョイント削減パッケージ項目1のインディケータ (2回目)
F 511 コンジョイン削減案A項目1 (2回目)
F 52 コンジョイント削減パッケージ項目2のインディケータ (2回目)
F 512 コンジョイン削減案A項目2 (2回目)
F 53 コンジョイント削減パッケージ項目3のインディケータ (2回目)
F 513 コンジョイン削減案A項目3 (2回目)
F 54 コンジョイント削減パッケージ項目4のインディケータ (2回目)
F 514 コンジョイン削減案A項目4 (2回目)
F 55 コンジョイント削減パッケージ項目5のインディケータ (2回目)
F 515 コンジョイン削減案A項目5 (2回目)
F 56 コンジョイント削減パッケージ項目6のインディケータ (2回目)
F 516 コンジョイン削減案A項目6 (2回目)
F 521 コンジョイン削減案B項目1 (2回目)
F 522 コンジョイン削減案B項目2 (2回目)
F 523 コンジョイン削減案B項目3 (2回目)
F 524 コンジョイン削減案B項目4 (2回目)
F 525 コンジョイン削減案B項目5 (2回目)
F 526 コンジョイン削減案B項目6 (2回目)
F 61 コンジョイント削減パッケージ項目1のインディケータ (3回目)
F 611 コンジョイン削減案A項目1 (3回目)
F 62 コンジョイント削減パッケージ項目2のインディケータ (3回目)
F 612 コンジョイン削減案A項目2 (3回目)
F 63 コンジョイント削減パッケージ項目3のインディケータ (3回目)
F 613 コンジョイン削減案A項目3 (3回目)
F 64 コンジョイント削減パッケージ項目4のインディケータ (3回目)
F 614 コンジョイン削減案A項目4 (3回目)
F 65 コンジョイント削減パッケージ項目5のインディケータ (3回目)
F 615 コンジョイン削減案A項目5 (3回目)
F 66 コンジョイント削減パッケージ項目6のインディケータ (3回目)
F 616 コンジョイン削減案A項目6 (3回目)
F 621 コンジョイン削減案B項目1 (3回目)
F 622 コンジョイン削減案B項目2 (3回目)
F 623 コンジョイン削減案B項目3 (3回目)
F 624 コンジョイン削減案B項目4 (3回目)
F 625 コンジョイン削減案B項目5 (3回目)
F 626 コンジョイン削減案B項目6 (3回目)

6 コードブック

6.1 パート0－割り当て

id	回答者の識別コード	
質問		
値とカテゴリ	システム上で自動的に採番	
質問番号		
age	年齢	
質問	西暦何年にお生まれですか？	
値とカテゴリ	回答者の年齢 = 2023 - 回答した西暦	
	18	18歳

	93	93歳
質問番号	Q0a	
sex	性別	
質問	あなたの性別をお答えください。	
値とカテゴリ	1	男性
	2	女性
質問番号	Q0b	
educ	教育水準	
質問	あなたが最後に卒業された学校はどちらですか？ 各種学校は含めず、在学中は卒業とみなしてお答えください。	
値とカテゴリ	0	未就学
	1	小学校
	2	中学校
	3	高校
	4	高専
	5	短大
	6	4年生大学または同等レベル
	7	大学院修士または博士課程
質問番号	Q0c	

資 料

lm	就業の有無	
質問	あなたは現在、有給のお仕事をされていますか？	
値とカテゴリー	1	はい
	2	いいえ
質問番号	Q0d	

6.2 パート1—政策位置

拡充策に対する政策位置		
pos_e_pen	政府は老齢年金の給付額を増やすべきである。	
pos_e_cc	政府は良質な保育サービスをより使いやすくすべきである。	
pos_e_educ	政府は低所得世帯の学生が良質な大学教育を受けられる機会を拡大すべきである。	
pos_e_ub	政府は失業手当を増やすべきである。	
pos_e_alm	政府は長期失業者の労働市場への復帰を支援するサービスを拡充すべきである。	
pos_e_socass	政府は日本人に限って生活保護の給付を拡大すべきである。	
質問	あなたは、次に挙げる政策改革案にどの程度賛成ですか？	
値とカテゴリー	1	強く反対
	2	反対
	3	賛成
	4	強く賛成
質問番号	Q1.1	

削減策に対する政策位置		
pos_r_pen	政府は老齢年金の給付額を減らすべきである。	
pos_r_cc	政府は公的保育サービスの利用料を引き上げるべきである。	
pos_r_educ	政府は中高所得世帯の学生を対象に、大学教育の学費負担を増やすべきである。	
pos_r_ub	政府は失業手当を減らすべきである。	
pos_r_alm	政府は（すべての失業者ではなく）長期失業者にのみ労働市場復帰支援サービスを提供すべきである。	
pos_r_socass	政府は外国人に限って生活保護の給付を減らすべきである。	
質問	あなたは、次に挙げる政策改革案にどの程度賛成ですか？	
値とカテゴリー	1	強く反対
	2	反対
	3	賛成
	4	強く賛成

質問番号	Q1.2	
to_real	トレードオフの認識	
質問	次の意見にどの程度賛同しますか。「今日、福祉国家は人が望むものをすべて提供することはできない。ある人への給付を増やせば、遅かれ早かれ、他の誰かが給付の減少を受け入れなければならなくなる。」	
値とカテゴリー	1	強く反対
	2	反対
	3	賛成
	4	強く賛成
質問番号	Q1.3	
fc_real	財政制約の認識	
質問	次の意見にどの程度賛同しますか。「税金はすでに十分高い。政府はもう税金で国民からこれ以上お金を徴収すべきではない。」	
値とカテゴリー	1	強く反対
	2	反対
	3	賛成
	4	強く賛成
質問番号	Q1.4	

6.3 パート2—コンジョイント

Q211	コンジョイント拡充パッケージ選択（1回目）
質問	日本政府が、福祉給付とサービスを拡充するための追加的な手段を持っていると想像してください。次の2つの提案は、異なる形での給付とサービスの拡充案を示しています。あなたはどちらを選ばれますか？
	<p>老齢年金</p> <ul style="list-style-type: none"> • 支給額はそのまにする • 全員の支給額を増やす • 最低支給額は増やすが、支給上限額はそのままにする • 将来の年金受給者の支給額だけを増やす <p>保育</p> <ul style="list-style-type: none"> • サービスはそのままにする • 誰にとってもサービスを使いやすくする

資 料

- 低所得世帯層のみサービスを使いやすくする

大学教育

- 利用機会はそのまにする
- すべての生徒に対して進学機会を拡大する
- 低所得世帯の生徒のみを対象として進学機会を拡大する

失業給付

- 支給額はそのまにする
- すべての失業者の支給額を増やす
- 最低支給額は増やすが、支給上限額はそのままにする

積極的労働市場政策

- サービスはそのままにする
- すべての失業者に対してサービスを拡充する
- 長期失業者のみを対象としてサービスを拡充する
- 日本国民のみを対象としてサービスを拡充する

生活保護

- 支給額はそのまにする
- すべての受給者の支給額を増やす
- 日本国民のみを対象として支給額を増やす

【上記6つの政策領域ごとに選択肢の一つずつランダムに取り出し、組み合わせて、回答者に2つの政策案AとBを提示して選ばせる。】

値とカテゴリー	1	案A
	2	案B
質問番号	Q2.1	
Q221_1	コンジョイン拡充案A支持度合い（1回目）	
質問	この画面には、先ほど比較したのと同じ2つの案が再び表示されています。1が「強く反対」、7が「強く賛成」となる7段階の尺度で考えると、あなたは案Aをどのように評価されますか？	
値とカテゴリー	1	強く反対
	2	反対
	3	どちらかといえば反対
	4	どちらともいえない
	5	どちらかといえば賛成
	6	賛成
	7	強く賛成
質問番号	Q2.2	

福祉選好調査2023（2・完）（稗田・関・楊）

Q231_1	コンジョイン拡充案B支持度合い（1回目）	
質問	同じ尺度で、案Bへの支持をどのように評価しますか？	
値とカテゴリー	1	強く反対
	2	反対
	3	どちらかといえば反対
	4	どちらともいえない
	5	どちらかといえば賛成
	6	賛成
	7	強く賛成
質問番号	Q2.3	

Q212	コンジョイント拡充パッケージ選択（2回目）	
質問	Q211と同じ。	
値とカテゴリー	1	案A
	2	案B
質問番号	Q2.1	

Q222_1	コンジョイン拡充案A支持度合い（2回目）	
質問	この画面には、先ほど比較したのと同じ2つの案が再び表示されています。1が「強く反対」、7が「強く賛成」となる7段階の尺度で考えると、あなたは案Aをどのように評価されますか？	
値とカテゴリー	1	強く反対
	2	反対
	3	どちらかといえば反対
	4	どちらともいえない
	5	どちらかといえば賛成
	6	賛成
	7	強く賛成
質問番号	Q2.2	

Q232_1	コンジョイン拡充案B支持度合い（2回目）	
質問	同じ尺度で、案Bへの支持をどのように評価しますか？	
値とカテゴリー	1	強く反対
	2	反対
	3	どちらかといえば反対
	4	どちらともいえない
	5	どちらかといえば賛成

資 料

	6	賛成
	7	強く賛成
質問番号	Q2.3	
Q213	コンジョイント拡充パッケージ選択（3回目）	
質問	Q211と同じ。	
値とカテゴリー	1	案A
	2	案B
質問番号	Q2.1	
Q223_1	コンジョイン拡充案A支持度合い（3回目）	
質問	この画面には、先ほど比較したのと同じ2つの案が再び表示されています。1が「強く反対」、7が「強く賛成」となる7段階の尺度で考えるとき、あなたは案Aをどのように評価されますか？	
値とカテゴリー	1	強く反対
	2	反対
	3	どちらかといえば反対
	4	どちらともいえない
	5	どちらかといえば賛成
	6	賛成
	7	強く賛成
質問番号	Q2.2	
Q233_1	コンジョイン拡充案B支持度合い（3回目）	
質問	同じ尺度で、案Bへの支持をどのように評価しますか？	
値とカテゴリー	1	強く反対
	2	反対
	3	どちらかといえば反対
	4	どちらともいえない
	5	どちらかといえば賛成
	6	賛成
	7	強く賛成
質問番号	Q2.3	
Q241	コンジョイント削減パッケージ選択（1回目）	
質問	日本政府が、福祉給付とサービスを削減しなければならなくなると想像してください。次の2つの提案は、異なる形での給付と	

福祉選好調査2023（2・完）（稗田・関・楊）

サービスの削減案を示しています。あなたはどちらを選ばれますか？

老齢年金

- 支給額はそのまにする
- 全員の支給額を減らす
- 支給上限額は減らす、最低支給額はそのまにする
- 将来の年金受給者の支給額だけを減らす

保育

- 保育料はそのまにする
- すべての利用者の保育料を引き上げる
- 高所得世帯のみを対象として保育料を引き上げる

大学教育

- 学費負担はそのまにする
- すべての学生を対象として学費負担を増やす
- 中・高所得世帯の学生のみを対象として学費負担を増やす

失業給付

- 支給額はそのまにする
- すべての失業者の支給額を減らす
- 支給上限額は減らす、最低支給額はそのまにする

積極的労働市場政策

- サービスはそのまにする
- すべての失業者に対してサービスを削減する
- 長期失業者のみを対象としてサービスを削減する
- 移民を対象としてサービスを削減する

生活保護

- 支給額はそのまにする
- すべての受給者の支給額を減らす
- 移民のみを対象として支給額を減らす

【上記6つの政策領域ごとに選択肢の一つずつランダムに取り出し、組み合わせて、回答者に2つの政策案AとBを提示して選ばれる。】

値とカテゴリー	1	案A
	2	案B
質問番号	Q2.4	

Q251_1	コンジョイン削減案A支持度合い（1回目）
質問	この画面には、先ほど比較したのと同じ2つの案が再び表示され

資 料

ています。1が「強く反対」、7が「強く賛成」となる7段階の尺度で考えるとき、あなたは案Aをどのように評価されますか？

値とカテゴリ	1	強く反対
	2	反対
	3	どちらかといえば反対
	4	どちらともいえない
	5	どちらかといえば賛成
	6	賛成
	7	強く賛成

質問番号 Q2.5

Q261_1 コンジョイン削減案B支持度合い（1回目）

質問 同じ尺度で、案Bへの支持をどのように評価しますか？

値とカテゴリ	1	強く反対
	2	反対
	3	どちらかといえば反対
	4	どちらともいえない
	5	どちらかといえば賛成
	6	賛成
	7	強く賛成

質問番号 Q2.6

Q242 コンジョイント削減パッケージ選択（2回目）

質問 Q241と同じ。

値とカテゴリ	1	案A
	2	案B

質問番号 Q2.4

Q252_1 コンジョイン削減案A支持度合い（2回目）

質問 この画面には、先ほど比較したのと同じ2つの案が再び表示されています。1が「強く反対」、7が「強く賛成」となる7段階の尺度で考えるとき、あなたは案Aをどのように評価されますか？

値とカテゴリ	1	強く反対
	2	反対
	3	どちらかといえば反対
	4	どちらともいえない
	5	どちらかといえば賛成
	6	賛成

福祉選好調査2023（2・完）（稗田・関・楊）

	7	強く賛成
質問番号	Q2.5	

Q262_1	コンジョイン削減案B支持度合い（2回目）	
質問	同じ尺度で、案Bへの支持をどのように評価しますか？	
値とカテゴリー	1	強く反対
	2	反対
	3	どちらかといえば反対
	4	どちらともいえない
	5	どちらかといえば賛成
	6	賛成
	7	強く賛成
質問番号	Q2.6	

Q243	コンジョイント削減パッケージ選択（3回目）	
質問	Q241と同じ。	
値とカテゴリー	1	案A
	2	案B
質問番号	Q2.4	

Q253_1	コンジョイン削減案A支持度合い（3回目）	
質問	この画面には、先ほど比較したのと同じ2つの案が再び表示されています。1が「強く反対」、7が「強く賛成」となる7段階の尺度で考えるとき、あなたは案Aをどのように評価されますか？	
値とカテゴリー	1	強く反対
	2	反対
	3	どちらかといえば反対
	4	どちらともいえない
	5	どちらかといえば賛成
	6	賛成
	7	強く賛成
質問番号	Q2.5	

Q263_1	コンジョイン削減案B支持度合い（3回目）	
質問	同じ尺度で、案Bへの支持をどのように評価しますか？	
値とカテゴリー	1	強く反対
	2	反対

資 料

	3	どちらかといえば反対
	4	どちらともいえない
	5	どちらかといえば賛成
	6	賛成
	7	強く賛成
質問番号	Q2.6	

6.4 パート3—優先順位

トレードオフ質問		
to1	政府は将来のすべての年金受給者に適切な水準の老齢年金の支給を保証する代わりに、現在の年金受給者の給付を多少引き下げる。	
to2	政府は良質な保育サービスをより使いやすくする代わりに、児童手当を引き下げる。	
to3	政府は失業者への給付を引き上げる代わりに、老齢年金の支給上限額を若干引き下げる。	
to4	政府は低所得世帯の大学生への財政支援を強化する代わりに、中・高所得世帯の学生の学費負担を増やす。	
to5	政府は移民の就労を支援するサービスを充実させる代わりに、全員の老齢年金を若干引き下げる。	
to6	政府は老齢年金の支給上限額をわずかに引き下げる代わりに、失業中の若者への支援と訓練を強化する。	
to7	政府は老齢年金の支給上限額をわずかに引き下げる代わりに、良質な保育サービスをより使いやすくする。	
質問	政府がある福祉給付を改善したいと考えたとします。しかし、それは他の福祉給付を削減することによってのみ可能となります。あなたは、次のような削減を、それが可能にする改善と比較して、どの程度受け入れられると思いますか？ [項目の並び順をランダムに]	
値とカテゴリー	1	全くもって許容できない
	2	どちらかといえば許容できない
	3	どちらかといえば許容できる
	4	完全に許容できる
質問番号	Q3.1	

福祉拡充優先度（普遍主義対選別主義）		
prio_r_e_pen1	老齢年金給付の最低支給額を引き上げる	
prio_r_e_pen2	全員の老齢年金給付支給額を引き上げる	
prio_r_e_cc1	低所得世帯層のみを対象として、良質な保育サービスをより使いやすくする	

福祉選好調査2023（2・完）（稗田・関・楊）

prio_r_e_cc2	すべての世帯を対象に、良質な保育サービスをより使いやすくする	
prio_r_e_educ1	すべての生徒に対して、良質な大学教育を受ける機会を拡大する	
prio_r_e_educ2	低所得世帯の生徒のみを対象として、良質な大学教育を受ける機会を拡大する	
質問	政府が、福祉給付の一部を増やす手段はあるが、すべてを増やすことはできないと想像してください。あなたは、次の福祉給付の改善のうち、どれが最も重要だと考えますか？100ポイントを配分するとして、あなたがより重要だと考える改善にはより多くのポイントを与え、あなたがあまり重要ではないと考える改善にはより少ないポイントを与えてください。 [項目の並び順をランダムに]	
値とカテゴリー	0 … 100	0ポイント … 100ポイント
質問番号	Q3.2	

福祉拡充優先度（政策領域間）

prio_f_e_pen	老齢年金	
prio_f_e_cc	保育	
prio_f_e_educ	大学教育	
prio_f_e_ub	失業給付	
prio_f_e_almp	労働市場復帰支援サービス	
prio_f_e_migr	移民の社会・労働市場統合支援サービス	
質問	ここで、政府が社会政策の一部の領域では給付を改善できるものの、すべての分野で給付を改善することはできないと考えてください。あなたは100ポイントを割り当てることができます。給付改善がより大事だと考える領域にはより多くのポイントを与え、給付改善がそれほど大事ではないと考える領域には少ないポイントを与えてください。 [項目の並び順をランダムに]	
値とカテゴリー	0 … 100	0ポイント … 100ポイント
質問番号	Q3.3	

福祉削減優先度（普遍主義対選別主義）

prio_r_r_pen1	全員の老齢年金支給額を減らす	
prio_r_r_pen2	老齢年金の支給上限額は減らす、最低支給額はそのまにする	

資 料

prio_r_r_cc1	中・高所得世帯のみを対象として、保育料を引き上げる	
prio_r_r_cc2	すべての利用者の保育料を引き上げる	
prio_r_r_educ1	低所得世帯の学生をのぞいて、大学の学費負担を増やす	
prio_r_r_educ2	大学の学費負担を増やす	
質問	政府が福祉給付の一部を削減する必要はあるものの、すべてを削減する必要はないと考えてください。次の福祉給付の削減のうち、あなたはどれが最も受け入れやすいと思いますか？あなたは100ポイントを割り当てることができます。あなたがより受け入れやすいと思う削減にはより多くのポイントを、より受け入れにくいと思うものにはより少ないポイントを与えてください。 [項目の並び順をランダムに]	
値とカテゴリー	0	0ポイント

	100	100ポイント
質問番号	Q3.4	

	福祉削減優先度（政策領域間）	
prio_f_r_pen	高齢年金	
prio_f_r_cc	保育	
prio_f_r_educ	大学教育	
prio_f_r_ub	失業給付	
prio_f_r_almp	労働市場復帰支援サービス	
prio_f_r_migr	移民の社会・労働市場統合支援サービス	
質問	さて、最後に、政府が一部の社会政策で給付を削減する必要はあるものの、すべてで削減する必要はないと考えてください。あなたは100ポイントを割り当てることができます。あなたが給付削減をより受け入れやすいと思う領域にはより多くのポイントを、より受け入れにくいと思う領域にはより少ないポイントを与えてください。 [項目の並び順をランダムに]	
値とカテゴリー	0	0ポイント

	100	100ポイント
質問番号	Q3.5	

6.5 パート4—態度

	政策イシューに対する態度	
fairsoc	公平な社会であるためには、所得の差は小さくあるべきだ。	

福祉選好調査2023（2・完）（稗田・関・楊）

socstrain	日本の福祉給付やサービスは、経済への負担が大きすぎる。	
govrespar	働く親をサポートするのは、政府の責任だ。	
investeduc	政府はもっと教育に投資すべきだ。	
migrnc	移民は私たちの文化を脅かすものだ。	
gayadopt	ゲイやレズビアンのカップルにも、異性愛カップルと同じように養子縁組をする権利を与えるべきだ。	
famlife	全体として、女性がフルタイムで仕事をすると、家庭生活が犠牲になる。	
migrmlm	移民は国の労働市場にとって脅威だ。	
euintegr	ヨーロッパの統合は行き過ぎだ。	
govppl	政府は、たとえ既存の国際公約に反することになったとしても、多くの人々が望むものに答える決定を採用すべきだ。	
質問	次の意見にどの程度賛同しますか。 [項目の並び順をランダムに]	
値とカテゴリ	1 強く反対 2 反対 3 賛成 4 強く賛成	
質問番号	Q4.1	
lrscale	左右位置	
質問	政治の世界では、「左派」「右派」という言い方をすることがあります。0が「左」、10が「右」だとすると、あなたはどのあたりに位置づけられるでしょうか？	
値とカテゴリ	0	左派

	10	右派
質問番号	Q4.2	
soctrst	一般的信頼	
質問	一般的に、ほとんどの人は信頼できると思いますか？	
値とカテゴリ	0	ほとんどの人は信頼できない

	10	ほとんどの人は信頼できる
質問番号	Q4.3	

資 料

statecap	国家能力の認識	
質問	一般的にいて、あなたの国では政治的決定はおおむね効果的に実施されていると思いますか？	
値とカテゴリー	0	まったく効果的に実施されていない

	10	効果的に実施されている
質問番号	Q4.4	

poltrst	政治家に対する信頼	
質問	一般的にいて、あなたは自国の政治家を信頼していますか？	
値とカテゴリー	0	政治家をまったく信頼していない

	10	政治家を完全に信頼している
質問番号	Q4.5	

lngtrmsup_A	2年間の教育大規模改革（ランダム化試験）	
質問	[サンプルをランダムに4分割し、1/4の回答者に以下の質問を提示する] 日本政府が、教育システムの質を高めるために、大規模な教育改革を計画していたとしましょう。この改革は実施までに2年かかり、費用は5000億円かかるとします。あなたはこのような改革を支持しますか？	
値とカテゴリー	1	まったく支持しない

	10	絶対に支持する
質問番号	Q4.6	

lngtrmsup_B	15年間の教育大規模改革（ランダム化試験）	
質問	[サンプルをランダムに4分割し、1/4の回答者に以下の質問を提示する] 日本政府が、教育システムの質を高めるために、大規模な教育改革を計画していたとしましょう。この改革は実施までに15年かかり、費用は5000億円かかるとします。あなたはこのような改革を支持しますか？	
値とカテゴリー	1	まったく支持しない

	10	絶対に支持する

福祉選好調査2023（2・完）（稗田・関・楊）

質問番号	Q4.6
------	------

lngtrmsup_C	2年間の年金大規模改革（ランダム化試験）
-------------	----------------------

質問	<p>[サンプルをランダムに4分割し、1/4の回答者に以下の質問を提示する]</p> <p>日本政府が、高齢年金支給額を引き上げるために、大規模な年金改革を計画していたとしましょう。この改革は実施までに2年かかり、費用は5000億円かかるとします。あなたはこのような改革を支持しますか？</p>	
----	---	--

値とカテゴリ	1	まったく支持しない

	10	絶対に支持する

質問番号	Q4.6
------	------

lngtrmsup_D	15年間の年金大規模改革（ランダム化試験）
-------------	-----------------------

質問	<p>[サンプルをランダムに4分割し、1/4の回答者に以下の質問を提示する]</p> <p>日本政府が、高齢年金支給額を引き上げるために、大規模な年金改革を計画していたとしましょう。この改革は実施までに15年かかり、費用は5000億円かかるとします。あなたはこのような改革を支持しますか？</p>	
----	--	--

値とカテゴリ	1	まったく支持しない

	10	絶対に支持する

質問番号	Q4.6
------	------

evalws	福祉支出の効率性認識
--------	------------

質問	<p>日本の福祉に投入されているお金は効率的に使われているという人もいれば、多くのお金が無駄になっているという人もいます。あなたはどう思われますか？</p>	
----	--	--

値とカテゴリ	1	多くのお金が無駄になっている

	10	お金は効率的に使われている

質問番号	Q4.7
------	------

livingstd	生活水準改善の認識
-----------	-----------

質問	10年前と比較して、あなたの経済的な生活水準は全体として低下	
----	--------------------------------	--

資 料

したと思いますか、それとも向上したと思いますか？

値とカテゴリー	0	低下した

	10	向上した
質問番号	Q4.8	

autom	自動化脅威認識	
質問	今後10年以内に、あなたの仕事がロボットや新技術、スマートソフトウェア、人工知能（AI）によって自動化される可能性は何パーセント（0～100）ですか？	
値とカテゴリー	0	0 %

	100	100%
質問番号	Q4.9	

sss	主観的社会的地位	
質問	社会には、上に向かっていく人々と、下に向かっていく人々がいます。上位（10）から下位（1）に向かう尺度で、あなたはどこに位置しますか？	
値とカテゴリー	1	下位

	10	上位
質問番号	Q4.10	

socmob	主観的社会移動	
質問	あなたの社会的地位と、あなたの両親があなたの年齢のときにもっていた地位とを比較するとします。今のあなたの地位は、当時の彼らの地位と比較して、低いといえるでしょうか、高いといえるでしょうか？	
値とカテゴリー	1	低い
	2	同じ
	3	高い
質問番号	Q4.11	

lngtrmeval	日本の生活水準改善の認識	
質問	30年前と比べて、日本の生活は良くなったと思いますか、悪くなったと思いますか？	

値とカテゴリ	1	悪くなった

	10	良くなった
質問番号	Q4.12	

6.6 パート5—投票行動

party	投票先政党（現在）	
質問	もし来週総選挙が行われるとしたら、あなたはどの政党に投票する可能性がもっとも高いと思いますか？ 〔選択肢の順番を、「その他」と「投票するつもりはない」を除き、ランダムにする。〕	
値とカテゴリ	1	自由民主党
	2	立憲民主党
	3	公明党
	4	日本維新の会
	5	日本共産党
	6	国民民主党
	7	れいわ新選組
	8	NHK 党
	9	参政党
	10	社会民主党
	11	その他
	12	投票するつもりはない
質問番号	Q5.1	

polintr	政治関心	
質問	あなたは政治にどの程度関心があると思いますか？	
値とカテゴリ	1	まったく関心がない
	2	あまり関心がない
	3	かなり関心がある
	4	非常に関心がある
質問番号	Q5.2	

prtcp	投票参加	
質問	最近は何らかの理由で投票しない人もいますようです。2022年に行われた前回の国政選挙では、あなたは投票されましたか？	
値とカテゴリ	1	はい

資 料

	2	いいえ
	3	投票権がなかった
質問番号	Q5.3	

lastelect	投票先政党（前回国政選挙）	
質問	[回答者が Q5.3=1 の場合に見せる] 前回の選挙では、どの政党に投票されましたか？	
値とカテゴリ	1	自由民主党
	2	立憲民主党
	3	公明党
	4	日本維新の会
	5	日本共産党
	6	国民民主党
	7	れいわ新選組
	8	NHK 党
	9	参政党
	10	社会民主党
	11	その他
質問番号	Q5.4	

6.7 パート6—福祉国家との接触

wscntct	福祉サービス雇用者の評価	
質問	過去12ヶ月間の福祉関係職員（例：職業安定所職員、保育士、教師、ソーシャルワーカー、医療スタッフ）とのやり取りについて考えてみると、彼らに対する評価は全体的に肯定的ですか、否定的ですか？	
値とカテゴリ	1	肯定的

	5	否定的
質問番号	Q6.1	

wsexp	福祉給付・サービス受給の有無	
質問	以下のサービスや給付を利用したり、受けたりしたことはありますか？	
値とカテゴリ	1	失業給付金
	2	職業紹介サービス
	3	公的保育サービス

	4	生活保護
質問番号	Q6.2	

6.8 パート7—政党の認識

congr	政治的意思決定者との一致度合い	
質問	一般的にあって、あなたの国の政治的意思決定者は、社会政策においてどの改革が最も重要であるか、あなたの考えを共有していると思いますか？	
値とカテゴリー	1	私の考える最も重要な改革は、政治家のそれとは全く異なる

	10	私の考える最も重要な改革は、政治家のそれに近い
質問番号	Q7.1	

party_x1	Q7.2およびQ7.3で割り当てられた政党X1	
質問	政党X1=Q5.1で選択した政党/Q5.1=“その他”またはQ5.1=“投票するつもりはない”の場合、政党X1=無作為に割り当てられた政党	
値とカテゴリー	1	自由民主党
	2	立憲民主党
	3	公明党
	4	日本維新の会
	5	日本共産党
	6	国民民主党
	7	れいわ新選組
	8	NHK 党
	9	参政党
	10	社会民主党
質問番号	Q7.2およびQ7.3	

	政党の福祉拡充優先度認識	
eval_e_pl_pen	政党X1の拡充優先度（老齢年金）	
eval_e_pl_c	政党X1の拡充優先度（保育サービス）	
eval_e_pl_educ	政党X1の拡充優先度（高等教育）	
eval_e_pl_ub	政党X1の拡充優先度（失業給付）	
eval_e_pl_alm	政党X1の拡充優先度（積極的労働市場政策）	

資 料

eval_e_pl_migr	政党X1の拡充優先度（移民統合サービス）	
質問	<p>[政党X1=Q5_1で選択した政党。Q5_1=“その他”またはQ5_1=“投票するつもりはない”の場合、政党X1=無作為に割り当てられた政党]</p> <p>次のうち、【政党X1】が社会的給付の改善を優先すると思う分野はどれですか？100点満点でお願いします。【政党X1】が改善を優先すると思う分野にはより多くの点を、【政党X1】が改善をあまり重要視しないと思う分野にはより少ない点を与えてください。 [項目の並び順をランダムに]</p>	
値とカテゴリー	0 … 100	0点 … 100点
質問番号	Q7.2	
政党の福祉削減優先度認識		
eval_r_pl_pen	政党X1の削減優先度（老齢年金）	
eval_r_pl_c	政党X1の削減優先度（保育サービス）	
eval_r_pl_educ	政党X1の削減優先度（高等教育）	
eval_r_pl_ub	政党X1の削減優先度（失業給付）	
ev_r_pl_almp	政党X1の削減優先度（積極的労働市場政策）	
eval_r_pl_migr	政党X1の削減優先度（移民統合サービス）	
質問	<p>[政党X1=Q5_1で選択した政党。Q5_1=“その他”またはQ5_1=“投票するつもりはない”の場合、政党X1=無作為に割り当てられた政党]</p> <p>また、【政党X1】が必要であれば、次のどの分野で給付を削減する可能性が高いと思いますか？100点満点でお願いします。【政党X1】が既存の利益を削減する可能性が高いと思う分野にはより多くのポイントを、【政党X1】が既存の利益を何としても守ると思う分野にはより少ないポイントを与えてください。 [項目の並び順をランダムに]</p>	
値とカテゴリー	0 … 100	0点 … 100点
質問番号	Q7.3	

福祉選好調査2023（2・完）（稗田・関・楊）

party_x2	Q7.4とQ7.5で割り当てられた政党X2	
質問	政党X2＝ランダムに割り当てられた政党≠Q7.2/Q7.3の政党X1	
値とカテゴリー	1	自由民主党
	2	立憲民主党
	3	公明党
	4	日本維新の会
	5	日本共産党
	6	国民民主党
	7	れいわ新選組
	8	NHK 党
	9	参政党
	10	社会民主党
質問番号	Q7.4およびQ7.5	

政党の福祉拡充優先度認識

eval_e_p2_pen	政党X2の拡充優先度（老齢年金）	
eval_e_p2_c	政党X2の拡充優先度（保育サービス）	
eval_e_p2_educ	政党X2の拡充優先度（高等教育）	
eval_e_p2_ub	政党X2の拡充優先度（失業給付）	
eval_e_p2_almp	政党X2の拡充優先度（積極的労働市場政策）	
eval_e_p2_migr	政党X2の拡充優先度（移民統合サービス）	

質問 [政党X2＝ランダムに割り当てられた政党≠Q7.2/Q7.3の政党X1]

次のうち、【政党X2】が社会的給付の改善を優先すると思う分野はどれですか？100点満点でお願いします。【政党X2】が改善を優先すると思う分野にはより多くの点を、【政党X2】が改善をあまり重要視しないと思う分野にはより少ない点を与えてください。
[項目の並び順をランダムに]

値とカテゴリー	0	0点

	100	100点
質問番号	Q7.4	

政党の福祉削減優先度認識

eval_r_p2_pen	政党X2の削減優先度（老齢年金）	
---------------	------------------	--

資 料

eval_r_p2_c	政党X2の削減優先度（保育サービス）	
eval_r_p2_educ	政党X2の削減優先度（高等教育）	
eval_r_p2_ub	政党X2の削減優先度（失業給付）	
eval_r_p2_almpr	政党X2の削減優先度（積極的労働市場政策）	
eval_r_p2_migr	政党X2の削減優先度（移民統合サービス）	
質問	[政党X2＝ランダムに割り当てられた政党≠Q7.2/Q7.3の政党X1] また、【政党X2】が必要であれば、次のどの分野で給付を削減する可能性が高いと思いますか？100点満点でお願いします。【政党X2】が既存の利益を削減する可能性が高いと思う分野にはより多くのポイントを、【政党X2】が既存の利益を何としても守ると思う分野にはより少ないポイントを与えてください。 [項目の並び順をランダムに]	
値とカテゴリー	0	0点

	100	100点
質問番号	Q7.5	

6.9 パート8—社会人口統計

citizen	日本国籍	
質問	あなたは日本国籍をお持ちですか？	
値とカテゴリー	1	はい
	2	いいえ
質問番号	Q8.1	
tumembr	労働組合員	
質問	あなたは、労働組合あるいは似た組織に所属しているか、過去に所属していたことはありますか？「はい」の場合、それは現在ですか、以前ですか？	
値とカテゴリー	1	はい、現在所属しています
	2	はい、以前に所属していました
	3	いいえ
質問番号	Q8.2	

福祉選好調査2023（2・完）（稗田・関・楊）

parent	子供の人数	
質問	お子様は何人いらっしゃいますか？	
値とカテゴリー	0	0人
	…	…
	10	10人
質問番号	Q8.5	

chldrnage	子供の年齢	
質問	[回答者がQ8.5≠0の場合に見せる] お子様は何歳ですか？	
値とカテゴリー	0	0歳
	…	…
	99	99歳
質問番号	Q8.6.1	

lwstchage	一番下の子供の年齢	
質問	一番下のお子様は何歳ですか？	
値とカテゴリー	0	0歳
	…	…
	99	99歳
質問番号	Q8.6.2	

chldrnfem	女性の子供の人数	
質問	お子様のうち、女性の方は何人ですか？	
値とカテゴリー	0	0人
	…	…
	10	10人
質問番号	Q8.7	

emplsit	現在の雇用形態	
質問	現在の雇用形態について教えてください（複数選択可）。	
値とカテゴリー	1	契約社員・派遣社員・パート・アルバイト（勤め）
	2	正社員（勤め）
	3	自営または家族従業
	4	在学中（職業訓練、高等教育）
	5	非雇用の主婦/主夫

資 料

	6	年金受給者
	7	失業中
	8	その他
質問番号	Q8.8	
prtime	就労形態（フルタイム／パート）	
質問	[回答者がQ8.8=1or2の場合に見せる] あなたの就労形態は	
値とカテゴリー	1	フルタイム
	2	パートタイム（一週30時間以下）
質問番号	Q8.9	
wkhrs	週労働時間	
質問	[回答者がQ8.9=2の場合に見せる] 平均して週に何時間くらい働いていますか？	
値とカテゴリー	自由記述 (min_2時間～max_60時間)	
質問番号	Q8.10	
prtimeevol	契約労働時間数増加の希望	
質問	[回答者がQ8.9=2の場合に見せる] 契約時間数を増やしたいとお考えですか？	
値とカテゴリー	1	はい
	2	いいえ
質問番号	Q8.11	
employees	従業員数	
質問	[回答者がQ8.8=3の場合に見せる] 自営業の方：ご自身を含め、会社で働く従業員は何名ですか？	
値とカテゴリー	1	1名（自分だけ）
	2	従業員数2名～14名
	3	従業員数15名～50名
	4	従業員数51名以上
質問番号	Q8.12	

福祉選好調査2023（2・完）（稗田・関・楊）

occ1	現職種
質問	[回答者がQ8.8≠4の場合に見せる] あなたの現在の仕事は何ですか？現在、有給で働いていない場合は、過去の主な仕事内容を教えてください。具体的に教えてください（例：小学校教諭、スーパーマーケットの販売員、製薬会社の技術者、等）。
値とカテゴリ	_自由記述 ※回答者のプライバシー保護のため非公開
質問番号	Q8.13
occ2	業種・企業規模
質問	[回答者がQ8.8≠4の場合に見せる] あなたはどのような会社で働いていますか（あるいは働いていましたか）？具体的に教えてください（どのような会社で従業員は何人か；例、電気通信会社・従業員数約2万人、小さな商店・従業員数3人、等）。
値とカテゴリ	_自由記述 ※回答者のプライバシー保護のため非公開
質問番号	Q8.14
occ3	地位・役職
質問	[回答者がQ8.8≠4の場合に見せる] 次に、あなたの職階上の地位（例、平社員、プロジェクトマネージャー、社長、等）を正確に説明してください。
値とカテゴリ	_自由記述 ※回答者のプライバシー保護のため非公開
質問番号	Q8.15
isco08	ISCO08コード（本人）
値とカテゴリ	回答者のQ8.13～15の回答を基に、国際標準職業分類（ISCO08）の4桁のコードを付与。分類コードについては、総務省ウェブサイト参照（ https://www.soumu.go.jp/toukei_toukatsu/index/seido/shokgyou/ ）
質問番号	Q8_13～15
sector	就労セクター
質問	[フィルター：回答者がQ8.8≠4の場合に見せる]

資 料

どのような組織で仕事をされていますか、あるいは仕事されましたか？

値とカテゴリ	1	中央官庁または地方自治体
	2	その他の公共部門（教育、保健など）
	3	国有企業
	4	民間企業
	5	自営業
	6	その他
質問番号	Q8.16	

oppecon	定年まで安定就労の可能性（本人）	
質問	[回答者がQ8.8≠6の場合に見せる] 世の中はどんどん変化しています。自分の将来を考えたとき、定年まで安定して働ける可能性についてどう評価しますか？	
値とカテゴリ	0	可能性はほとんどない

	10	可能性は非常に高い
質問番号	Q8.17	

oppsoc	充実した人生の可能性（本人）	
質問	[回答者がQ8.8≠6の場合に見せる] ここで、労働市場だけでなく、あなたの生活の質全般について考えてみてください。これから安全で充実した人生を送ることができる可能性についてどう評価しますか？	
値とカテゴリ	0	可能性はほとんどない

	10	可能性は非常に高い
質問番号	Q8.18	

oppeconkid	定年まで安定就労の可能性（子供）	
質問	[回答者がQ8.8≠6 & Q8.5=1の場合に見せる] 変化する世界の中で、お子様のこれからの人生を考えてみてください。お子様が定年まで安定した職業に就ける可能性についてどう評価しますか？	
値とカテゴリ	0	可能性はほとんどない

	10	可能性は非常に高い

福祉選好調査2023（2・完）（稗田・関・楊）

質問番号	Q8.19
------	-------

oppsockid	充実した人生の可能性（子供）	
質問	[回答者がQ8.8≠6 & Q8.5=1の場合に見せる] また、労働市場だけでなく、お子様の生活の質全体についても考えてみてください。お子様がこれから安全で充実した人生を送ることができる可能性についてどう評価しますか？	
値とカテゴリー	0	可能性はほとんどない

	10	可能性は非常に高い
質問番号	Q8.20	

oppeconkids	定年まで安定就労の可能性（子供複数）	
質問	[回答者がQ8.8≠6 & Q8.5>1の場合に見せる] 変化する世界の中で、お子様のこれからの人生を考えてみてください。お子様たちが定年まで安定した職業に就ける可能性についてどう評価しますか？	
値とカテゴリー	0	可能性はほとんどない

	10	可能性は非常に高い
質問番号	Q8.21	

oppsockids	充実した人生の可能性（子供複数）	
質問	[回答者がQ8.8≠6 & Q8.5>1の場合に見せる] また、労働市場だけでなく、お子様の生活の質全体についても考えてみてください。お子様たちがこれから安全で充実した人生を送ることができる可能性についてどう評価しますか？	
値とカテゴリー	0	可能性はほとんどない

	10	可能性は非常に高い
質問番号	Q8.22	

jobkid	子供の現職種	
質問	[回答者がQ8.5=1の場合に見せる] お子様の現在のお仕事や主な職業をご記入ください（例、教師、医学生など）。お子さまがまだ成人していない場合は、空欄で結構です。	

資 料

値とカテゴリ	自由記述	※回答者のプライバシー保護のため非公開
--------	------	---------------------

質問番号	Q8.23
------	-------

jobkids	子供の現職種（複数）
---------	------------

質問	[回答者がQ8.5>1の場合に見せる] お子様の現在のお仕事や主な職業をご記入ください（例、教師、医学生など）。お子さまたちがまだ成人していない場合は、空欄で結構です。	
----	---	--

値とカテゴリ	自由記述	※回答者のプライバシー保護のため非公開
--------	------	---------------------

質問番号	Q8.24
------	-------

spouse	配偶者／パートナーとの同居の有無
--------	------------------

質問	パートナー・配偶者の方と同居していますか？	
----	-----------------------	--

値とカテゴリ	1	はい
	2	いいえ

質問番号	Q8.25
------	-------

earner	世帯内の主な稼得者
--------	-----------

質問	[回答者がQ8.25=1の場合に見せる] あなたの世帯で主な収入を得ているのは誰ですか？	
----	---	--

値とカテゴリ	1	私
	2	配偶者・パートナー
	3	どちらもほぼ同程度の収入
	4	その他

質問番号	Q8.26
------	-------

emplsit_sp	配偶者の現在の雇用形態
------------	-------------

質問	[回答者がQ8.25=1の場合に見せる] 配偶者・パートナーの現在の雇用形態について教えてください。	
----	---	--

値とカテゴリ	1	契約社員・派遣社員・パート・アルバイト（勤め）
	2	正社員（勤め）
	3	自営または家族従業
	4	在学中（職業訓練、高等教育）
	5	非雇用の主婦/主夫
	6	年金受給者

福祉選好調査2023（2・完）（稗田・関・楊）

	7	失業中
	8	その他
質問番号	Q8.27	
prtime_sp	配偶者の就労形態（フルタイム／パート）	
質問	[回答者がQ8.27=1or2の場合に見せる] あなたの配偶者・パートナーの就労形態は	
値とカテゴリー	1	フルタイム
	2	パートタイム（一週30時間以下）
質問番号	Q8.28	
wrkhrrs_sp	配偶者の週労働時間	
質問	[回答者がQ8.27=2の場合に見せる] あなたの配偶者・パートナーは平均して週に何時間くらい働いていますか？	
値とカテゴリー	自由記述（min_2時間～max_60時間）	
質問番号	Q8.29	
occl_sp	配偶者の現職種	
質問	[回答者がQ8.25=1の場合に見せる] あなたの配偶者・パートナーの現在の仕事は何ですか？あなたの配偶者・パートナーが現在有給の仕事をしていない場合、あなたの配偶者・パートナーの過去の主な仕事について説明してください。	
値とカテゴリー	自由記述	※回答者のプライバシー保護のため非公開
質問番号	Q8.30	
occ2_sp	配偶者の業種・企業規模	
質問	[回答者がQ8.25=1の場合に見せる] あなたの配偶者・パートナーはどのような会社で働いていますか（あるいは働いていましたか）？具体的に教えてください（どのような会社で従業員は何人か；例、電気通信会社・従業員数約2万人、小さな商店・従業員数3人、等）。	
値とカテゴリー	自由記述	※回答者のプライバシー保護のため非公開

資 料

質問番号	Q8.31
occ3_sp	配偶者の地位・役職
質問	[回答者がQ8.25=1の場合に見せる] 次に、あなたの配偶者・パートナーの職階上の地位（例、共同経営者、プロジェクトマネージャー、等）を正確に説明してください。
値とカテゴリ	自由記述 ※回答者のプライバシー保護のため非公開
質問番号	Q8.32
isco08p	ISCO08コード（配偶者／パートナー）
値とカテゴリ	回答者のQ8.30～32の回答を基に、国際標準職業分類（ISCO08）の4桁のコードを付与。分類コードについては、総務省ウェブサイト参照（ https://www.soumu.go.jp/toukei_toukatsu/index/seido/shokgyou/ ）
質問番号	Q8.30～32
class8_isco08	職業階級8分類
値とカテゴリ	ISCO08コード（本人）を基に、Oesch (n.d.) “Scripts for Social Class”（ https://people.unil.ch/danieloesch/scripts/ ）を用い、以下の職業階級8分類を付した。なお、回答者本人が無職の場合、且つ、配偶者／パートナーが存在する場合、ISCO08コード（配偶者／パートナー）を基に職業階級8分類を付している。 1 自営専門職／大企業経営者 2 自営業 3 技術（准）専門職 4 生産労働者 5 （准）管理職 6 事務職 7 社会文化（准）専門職 8 サービス労働者
質問番号	Q8.13～15およびQ8.30～32
chldrnsup	子供の日常的支援
質問	[回答者がQ8.5=1 & Q8.6>18の場合に見せる] 成長したお子様を日常的に支援されていますか？（複数選択可）

福祉選好調査2023（2・完）（稗田・関・楊）

[回答者がQ8.5>1 & Q8.6>18の場合に見せる]
成長したお子様たちを日常的に支援されていますか？（複数選択可）

値とカテゴリー	1	経済的支援
	2	育児のサポート
	3	住宅支援
質問番号	Q8.33.1およびQ8.33.2	

prntsups	親の日常的支援	
質問	あなたはご両親や義父母を日常的に支援されていますか？（複数選択可）	
値とカテゴリー	1	経済的支援
	2	介護（家事支援、医療的ケア、等）
	3	住宅支援
質問番号	Q8.34	

income	年間世帯所得	
質問	あなたの世帯の年間総収入は、いくらぐらいになりますか？	
値とカテゴリー	1	183万円未満
	2	183万円以上、245万円未満
	3	245万円以上、306万円未満
	4	306万円以上、364万円未満
	5	364万円以上、432万円未満
	6	432万円以上、519万円未満
	7	519万円以上、621万円未満
	8	621万円以上、760万円未満
	9	760万円以上、975万円未満
	10	975万円以上
質問番号	Q8.35	

6.10 【コンジョイント選択肢】

F11	コンジョイント拡充パッケージ項目1のインディケータ（1回目）	
	福祉引き上げ型改革のコンジョイント実験（1回目）の案Aと案Bを回答者に提示する際に、第1項目に適用された政策領域	
値とカテゴリー	老齢年金 保育	

資 料

大学教育
失業給付
積極的労働市場政策
生活保護

質問番号	Q2.1
F111	<p>コンジョイント拡充パッケージ項目1（1回目）</p> <p>福祉引き上げ型改革のコンジョイント実験（1回目）の案A項目1において、F11で指定された政策領域の政策案からランダムに割り振られた政策的選択肢</p>
値とカテゴリー	<p>老齢年金（以下のいずれか）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支給額はそのまにする ・全員の支給額を増やす ・最低支給額は増やすが、支給上限額はそのままにする ・将来の年金受給者の支給額だけを増やす <p>保育（以下のいずれか）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サービスはそのままにする ・誰にとってもサービスを使いやすくする ・低所得世帯層のみサービスを使いやすくする <p>大学教育（以下のいずれか）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用機会はそのままにする ・すべての生徒に対して進学機会を拡大する ・低所得世帯の生徒のみを対象として進学機会を拡大する <p>失業給付（以下のいずれか）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支給額はそのまにする ・すべての失業者の支給額を増やす ・最低支給額は増やすが、支給上限額はそのままにする <p>積極的労働市場政策（以下のいずれか）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サービスはそのままにする ・すべての失業者に対してサービスを拡充する ・長期失業者のみを対象としてサービスを拡充する ・日本国民のみを対象としてサービスを拡充する <p>生活保護（以下のいずれか）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支給額はそのまにする ・すべての受給者の支給額を増やす ・日本国民のみを対象として支給額を増やす
質問番号	Q2.1

福祉選好調査2023（2・完）（稗田・関・楊）

F12	コンジョイント拡充パッケージ項目2のインディケータ（1回目）
	福祉引き上げ型改革のコンジョイント実験（1回目）の案Aと案Bを回答者に提示する際に、第2項目に適用された政策領域
値とカテゴリー	F11と同じ
質問番号	Q2.1
F112	コンジョイント拡充パッケージ項目2（1回目）
	福祉引き上げ型改革のコンジョイント実験（1回目）の案A項目2において、F12で指定された政策領域の政策案からランダムに割り振られた政策的選択肢
値とカテゴリー	F111と同じ
質問番号	Q2.1
F13	コンジョイント拡充パッケージ項目3のインディケータ（1回目）
	福祉引き上げ型改革のコンジョイント実験（1回目）の案Aと案Bを回答者に提示する際に、第3項目に適用された政策領域
値とカテゴリー	F11と同じ
質問番号	Q2.1
F113	コンジョイント拡充パッケージ項目3（1回目）
	福祉引き上げ型改革のコンジョイント実験（1回目）の案A項目3において、F13で指定された政策領域の政策案からランダムに割り振られた政策的選択肢
値とカテゴリー	F111と同じ
質問番号	Q2.1
F14	コンジョイント拡充パッケージ項目4のインディケータ（1回目）
	福祉引き上げ型改革のコンジョイント実験（1回目）の案Aと案Bを回答者に提示する際に、第4項目に適用された政策領域
値とカテゴリー	F11と同じ
質問番号	Q2.1

資 料

F114	コンジョイント拡充パッケージ項目4（1回目）
	福祉引き上げ型改革のコンジョイント実験（1回目）の案A項目4において、F14で指定された政策領域の政策案からランダムに割り振られた政策的選択肢
値とカテゴリー	F111と同じ
質問番号	Q2.1
F15	コンジョイント拡充パッケージ項目5のインディケーター（1回目）
	福祉引き上げ型改革のコンジョイント実験（1回目）の案Aと案Bを回答者に提示する際に、第5項目に適用された政策領域
値とカテゴリー	F11と同じ
質問番号	Q2.1
F115	コンジョイント拡充パッケージ項目5（1回目）
	福祉引き上げ型改革のコンジョイント実験（1回目）の案A項目5において、F15で指定された政策領域の政策案からランダムに割り振られた政策的選択肢
値とカテゴリー	F111と同じ
質問番号	Q2.1
F16	コンジョイント拡充パッケージ項目6のインディケーター（1回目）
	福祉引き上げ型改革のコンジョイント実験（1回目）の案Aと案Bを回答者に提示する際に、第6項目に適用された政策領域
値とカテゴリー	F11と同じ
質問番号	Q2.1
F116	コンジョイント拡充パッケージ項目6（1回目）
	福祉引き上げ型改革のコンジョイント実験（1回目）の案A項目6において、F16で指定された政策領域の政策案からランダムに割り振られた政策的選択肢
値とカテゴリー	F111と同じ
質問番号	Q2.1

福祉選好調査2023（2・完）（稗田・関・楊）

F 121	コンジョイント拡充パッケージ項目1（1回目）
	福祉引き上げ型改革のコンジョイント実験（1回目）の案B項目1において、F11で指定された政策領域の政策案からランダムに割り振られた政策的選択肢
値とカテゴリー	F111と同じ
質問番号	Q2.1
F 122	コンジョイント拡充パッケージ項目2（1回目）
	福祉引き上げ型改革のコンジョイント実験（1回目）の案B項目2において、F12で指定された政策領域の政策案からランダムに割り振られた政策的選択肢
値とカテゴリー	F111と同じ
質問番号	Q2.1
F 123	コンジョイント拡充パッケージ項目3（1回目）
	福祉引き上げ型改革のコンジョイント実験（1回目）の案B項目3において、F13で指定された政策領域の政策案からランダムに割り振られた政策的選択肢
値とカテゴリー	F111と同じ
質問番号	Q2.1
F 124	コンジョイント拡充パッケージ項目4（1回目）
	福祉引き上げ型改革のコンジョイント実験（1回目）の案B項目4において、F14で指定された政策領域の政策案からランダムに割り振られた政策的選択肢
値とカテゴリー	F111と同じ
質問番号	Q2.1
F 125	コンジョイント拡充パッケージ項目5（1回目）
	福祉引き上げ型改革のコンジョイント実験（1回目）の案B項目5において、F15で指定された政策領域の政策案からランダムに割り振られた政策的選択肢
値とカテゴリー	F111と同じ
質問番号	Q2.1

資 料

F 126	コンジョイント拡充パッケージ項目 6 (1 回目)
	福祉引き上げ型改革のコンジョイント実験 (1 回目) の案 B 項目 6 において、F 16 で指定された政策領域の政策案からランダムに割り振られた政策的選択肢
値とカテゴリー	F 111 と同じ
質問番号	Q 2.1
F 21	コンジョイント拡充パッケージ項目 1 のインディケーター (2 回目)
	福祉引き上げ型改革のコンジョイント実験 (2 回目) の案 A と案 B を回答者に提示する際に、第 1 項目に適用された政策領域
値とカテゴリー	F 11 と同じ
質問番号	Q 2.1
F 211	コンジョイント拡充パッケージ項目 1 (2 回目)
	福祉引き上げ型改革のコンジョイント実験 (2 回目) の案 A 項目 1 において、F 21 で指定された政策領域の政策案からランダムに割り振られた政策的選択肢
値とカテゴリー	F 111 と同じ
質問番号	Q 2.1
F 22	コンジョイント拡充パッケージ項目 2 のインディケーター (2 回目)
	福祉引き上げ型改革のコンジョイント実験 (2 回目) の案 A と案 B を回答者に提示する際に、第 2 項目に適用された政策領域
値とカテゴリー	F 11 と同じ
質問番号	Q 2.1
F 212	コンジョイント拡充パッケージ項目 2 (2 回目)
	福祉引き上げ型改革のコンジョイント実験 (2 回目) の案 A 項目 2 において、F 22 で指定された政策領域の政策案からランダムに割り振られた政策的選択肢
値とカテゴリー	F 111 と同じ
質問番号	Q 2.1

福祉選好調査2023（2・完）（稗田・関・楊）

F 23	コンジョイント拡充パッケージ項目3のインディケータ（2回目）
	福祉引き上げ型改革のコンジョイント実験（2回目）の案Aと案Bを回答者に提示する際に、第3項目に適用された政策領域
値とカテゴリー	F 11と同じ
質問番号	Q2.1
F 213	コンジョイント拡充パッケージ項目3（2回目）
	福祉引き上げ型改革のコンジョイント実験（2回目）の案A項目3において、F 23で指定された政策領域の政策案からランダムに割り振られた政策的選択肢
値とカテゴリー	F 111と同じ
質問番号	Q2.1
F 24	コンジョイント拡充パッケージ項目4のインディケータ（2回目）
	福祉引き上げ型改革のコンジョイント実験（2回目）の案Aと案Bを回答者に提示する際に、第4項目に適用された政策領域
値とカテゴリー	F 11と同じ
質問番号	Q2.1
F 214	コンジョイント拡充パッケージ項目4（2回目）
	福祉引き上げ型改革のコンジョイント実験（2回目）の案A項目4において、F 24で指定された政策領域の政策案からランダムに割り振られた政策的選択肢
値とカテゴリー	F 111と同じ
質問番号	Q2.1
F 25	コンジョイント拡充パッケージ項目5のインディケータ（2回目）
	福祉引き上げ型改革のコンジョイント実験（2回目）の案Aと案Bを回答者に提示する際に、第5項目に適用された政策領域
値とカテゴリー	F 11と同じ
質問番号	Q2.1

資 料

F 215	コンジョイント拡充パッケージ項目 5 (2 回目)
	福祉引き上げ型改革のコンジョイント実験 (2 回目) の案 A 項目 5 において、F 25 で指定された政策領域の政策案からランダムに割り振られた政策的選択肢
値とカテゴリー	F 111 と同じ
質問番号	Q 2.1
F 26	コンジョイント拡充パッケージ項目 6 のインディケーター (2 回目)
	福祉引き上げ型改革のコンジョイント実験 (2 回目) の案 A と案 B を回答者に提示する際に、第 6 項目に適用された政策領域
値とカテゴリー	F 11 と同じ
質問番号	Q 2.1
F 216	コンジョイント拡充パッケージ項目 6 (2 回目)
	福祉引き上げ型改革のコンジョイント実験 (2 回目) の案 A 項目 6 において、F 26 で指定された政策領域の政策案からランダムに割り振られた政策的選択肢
値とカテゴリー	F 111 と同じ
質問番号	Q 2.1
F 221	コンジョイント拡充パッケージ項目 1 (2 回目)
	福祉引き上げ型改革のコンジョイント実験 (2 回目) の案 B 項目 1 において、F 21 で指定された政策領域の政策案からランダムに割り振られた政策的選択肢
値とカテゴリー	F 111 と同じ
質問番号	Q 2.1
F 222	コンジョイント拡充パッケージ項目 2 (2 回目)
	福祉引き上げ型改革のコンジョイント実験 (2 回目) の案 B 項目 2 において、F 22 で指定された政策領域の政策案からランダムに割り振られた政策的選択肢
値とカテゴリー	F 111 と同じ
質問番号	Q 2.1

福祉選好調査2023（2・完）（稗田・関・楊）

F 223	コンジョイント拡充パッケージ項目3（2回目）
	福祉引き上げ型改革のコンジョイント実験（2回目）の案B項目3において、F 23で指定された政策領域の政策案からランダムに割り振られた政策的選択肢
値とカテゴリー	F 111と同じ
質問番号	Q2.1
F 224	コンジョイント拡充パッケージ項目4（2回目）
	福祉引き上げ型改革のコンジョイント実験（2回目）の案B項目4において、F 24で指定された政策領域の政策案からランダムに割り振られた政策的選択肢
値とカテゴリー	F 111と同じ
質問番号	Q2.1
F 225	コンジョイント拡充パッケージ項目5（2回目）
	福祉引き上げ型改革のコンジョイント実験（2回目）の案B項目5において、F 25で指定された政策領域の政策案からランダムに割り振られた政策的選択肢
値とカテゴリー	F 111と同じ
質問番号	Q2.1
F 226	コンジョイント拡充パッケージ項目6（2回目）
	福祉引き上げ型改革のコンジョイント実験（2回目）の案B項目6において、F 26で指定された政策領域の政策案からランダムに割り振られた政策的選択肢
値とカテゴリー	F 111と同じ
質問番号	Q2.1
F 31	コンジョイント拡充パッケージ項目1のインディケータ（3回目）
	福祉引き上げ型改革のコンジョイント実験（3回目）の案Aと案Bを回答者に提示する際に、第1項目に適用された政策領域
値とカテゴリー	F 11と同じ
質問番号	Q2.1

資 料

F 311	コンジョイント拡充パッケージ項目 1 (3 回目)
	福祉引き上げ型改革のコンジョイント実験 (3 回目) の案 A 項目 1 において、F 31 で指定された政策領域の政策案からランダムに割り振られた政策的選択肢
値とカテゴリー	F 111 と同じ
質問番号	Q 2.1
F 32	コンジョイント拡充パッケージ項目 2 のインディケーター (3 回目)
	福祉引き上げ型改革のコンジョイント実験 (3 回目) の案 A と案 B を回答者に提示する際に、第 2 項目に適用された政策領域
値とカテゴリー	F 11 と同じ
質問番号	Q 2.1
F 312	コンジョイント拡充パッケージ項目 2 (3 回目)
	福祉引き上げ型改革のコンジョイント実験 (3 回目) の案 A 項目 2 において、F 32 で指定された政策領域の政策案からランダムに割り振られた政策的選択肢
値とカテゴリー	F 111 と同じ
質問番号	Q 2.1
F 33	コンジョイント拡充パッケージ項目 3 のインディケーター (3 回目)
	福祉引き上げ型改革のコンジョイント実験 (3 回目) の案 A と案 B を回答者に提示する際に、第 3 項目に適用された政策領域
値とカテゴリー	F 11 と同じ
質問番号	Q 2.1
F 313	コンジョイント拡充パッケージ項目 3 (3 回目)
	福祉引き上げ型改革のコンジョイント実験 (3 回目) の案 A 項目 3 において、F 33 で指定された政策領域の政策案からランダムに割り振られた政策的選択肢
値とカテゴリー	F 111 と同じ
質問番号	Q 2.1

福祉選好調査2023（2・完）（稗田・関・楊）

F 34	コンジョイント拡充パッケージ項目4のインディケータ（3回目）
	福祉引き上げ型改革のコンジョイント実験（3回目）の案Aと案Bを回答者に提示する際に、第4項目に適用された政策領域
値とカテゴリー	F11と同じ
質問番号	Q2.1
F 314	コンジョイント拡充パッケージ項目4（3回目）
	福祉引き上げ型改革のコンジョイント実験（3回目）の案A項目4において、F34で指定された政策領域の政策案からランダムに割り振られた政策的選択肢
値とカテゴリー	F111と同じ
質問番号	Q2.1
F 35	コンジョイント拡充パッケージ項目5のインディケータ（3回目）
	福祉引き上げ型改革のコンジョイント実験（3回目）の案Aと案Bを回答者に提示する際に、第5項目に適用された政策領域
値とカテゴリー	F11と同じ
質問番号	Q2.1
F 315	コンジョイント拡充パッケージ項目5（3回目）
	福祉引き上げ型改革のコンジョイント実験（3回目）の案A項目5において、F35で指定された政策領域の政策案からランダムに割り振られた政策的選択肢
値とカテゴリー	F111と同じ
質問番号	Q2.1
F 36	コンジョイント拡充パッケージ項目6のインディケータ（3回目）
	福祉引き上げ型改革のコンジョイント実験（3回目）の案Aと案Bを回答者に提示する際に、第6項目に適用された政策領域
値とカテゴリー	F11と同じ
質問番号	Q2.1

資 料

F 316	コンジョイント拡充パッケージ項目 6 (3 回目)
	福祉引き上げ型改革のコンジョイント実験 (3 回目) の案 A 項目 6 において、F 36 で指定された政策領域の政策案からランダムに割り振られた政策的選択肢
値とカテゴリー	F 111 と同じ
質問番号	Q 2.1
F 321	コンジョイント拡充パッケージ項目 1 (3 回目)
	福祉引き上げ型改革のコンジョイント実験 (3 回目) の案 B 項目 1 において、F 31 で指定された政策領域の政策案からランダムに割り振られた政策的選択肢
値とカテゴリー	F 111 と同じ
質問番号	Q 2.1
F 322	コンジョイント拡充パッケージ項目 2 (3 回目)
	福祉引き上げ型改革のコンジョイント実験 (3 回目) の案 B 項目 2 において、F 32 で指定された政策領域の政策案からランダムに割り振られた政策的選択肢
値とカテゴリー	F 111 と同じ
質問番号	Q 2.1
F 323	コンジョイント拡充パッケージ項目 3 (3 回目)
	福祉引き上げ型改革のコンジョイント実験 (3 回目) の案 B 項目 3 において、F 33 で指定された政策領域の政策案からランダムに割り振られた政策的選択肢
値とカテゴリー	F 111 と同じ
質問番号	Q 2.1
F 324	コンジョイント拡充パッケージ項目 4 (3 回目)
	福祉引き上げ型改革のコンジョイント実験 (3 回目) の案 B 項目 4 において、F 34 で指定された政策領域の政策案からランダムに割り振られた政策的選択肢
値とカテゴリー	F 111 と同じ
質問番号	Q 2.1

福祉選好調査2023（2・完）（稗田・関・楊）

F 325	コンジョイント拡充パッケージ項目5（3回目）
	福祉引き上げ型改革のコンジョイント実験（3回目）の案B項目5において、F35で指定された政策領域の政策案からランダムに割り振られた政策的選択肢
値とカテゴリー	F111と同じ
質問番号	Q2.1
F 326	コンジョイント拡充パッケージ項目6（3回目）
	福祉引き上げ型改革のコンジョイント実験（3回目）の案B項目6において、F36で指定された政策領域の政策案からランダムに割り振られた政策的選択肢
値とカテゴリー	F111と同じ
質問番号	Q2.1
F 41	コンジョイント削減パッケージ項目1のインディケータ（1回目）
	福祉引き下げ型改革のコンジョイント実験（1回目）の案Aと案Bを回答者に提示する際に、第1項目に適用された政策領域
値とカテゴリー	F11と同じ
質問番号	Q2.4
F 411	コンジョイント削減パッケージ項目1（1回目）
	福祉引き下げ型改革のコンジョイント実験（1回目）の案A項目1において、F41で指定された政策領域の政策案からランダムに割り振られた政策的選択肢
値とカテゴリー	老齢年金（以下のいずれか） <ul style="list-style-type: none"> ・支給額はそのまにする ・全員の支給額を減らす ・支給上限額は減らす、最低支給額はそのまにする ・将来の年金受給者の支給額だけを減らす 保育（以下のいずれか） <ul style="list-style-type: none"> ・保育料はそのまにする ・すべての利用者の保育料を引き上げる ・高所得世帯のみを対象として保育料を引き上げる 大学教育（以下のいずれか） <ul style="list-style-type: none"> ・学費負担はそのまにする ・すべての学生を対象として学費負担を増やす

資 料

- 中・高所得世帯の学生のみを対象として学費負担を増やす失業給付（以下のいずれか）
 - 支給額はそのまにする
 - すべての失業者の支給額を減らす
 - 支給上限額は減らすが、最低支給額はそのまにする
- 積極的労働市場政策（以下のいずれか）
 - サービスはそのまにする
 - すべての失業者に対してサービスを削減する
 - 長期失業者のみを対象としてサービスを削減する
 - 移民を対象としてサービスを削減する
- 生活保護（以下のいずれか）
 - 支給額はそのまにする
 - すべての受給者の支給額を減らす
 - 移民のみを対象として支給額を減らす

質問番号	Q2.4
F 42	コンジョイント削減パッケージ項目 2 のインディケータ（1 回目） 福祉引き下げ型改革のコンジョイント実験（1 回目）の案 A と案 B を回答者に提示する際に、第 2 項目に適用された政策領域
値とカテゴリー	F 11 と同じ
質問番号	Q2.4
F 412	コンジョイント削減パッケージ項目 2（1 回目） 福祉引き下げ型改革のコンジョイント実験（1 回目）の案 A 項目 2 において、F 42 で指定された政策領域の政策案からランダムに割り振られた政策的選択肢
値とカテゴリー	F 411 と同じ
質問番号	Q2.4
F 43	コンジョイント削減パッケージ項目 3 のインディケータ（1 回目） 福祉引き下げ型改革のコンジョイント実験（1 回目）の案 A と案 B を回答者に提示する際に、第 3 項目に適用された政策領域
値とカテゴリー	F 11 と同じ
質問番号	Q2.4

福祉選好調査2023（2・完）（稗田・関・楊）

F 413	コンジョイント削減パッケージ項目3（1回目）
	福祉引き下げ型改革のコンジョイント実験（1回目）の案A項目3において、F 43で指定された政策領域の政策案からランダムに割り振られた政策的選択肢
値とカテゴリー	F 411と同じ
質問番号	Q2.4
F 44	コンジョイント削減パッケージ項目4のインディケータ（1回目）
	福祉引き下げ型改革のコンジョイント実験（1回目）の案Aと案Bを回答者に提示する際に、第4項目に適用された政策領域
値とカテゴリー	F 11と同じ
質問番号	Q2.4
F 414	コンジョイント削減パッケージ項目4（1回目）
	福祉引き下げ型改革のコンジョイント実験（1回目）の案A項目4において、F 44で指定された政策領域の政策案からランダムに割り振られた政策的選択肢
値とカテゴリー	F 411と同じ
質問番号	Q2.4
F 45	コンジョイント削減パッケージ項目5のインディケータ（1回目）
	福祉引き下げ型改革のコンジョイント実験（1回目）の案Aと案Bを回答者に提示する際に、第5項目に適用された政策領域
値とカテゴリー	F 11と同じ
質問番号	Q2.4
F 415	コンジョイント削減パッケージ項目5（1回目）
	福祉引き下げ型改革のコンジョイント実験（1回目）の案A項目5において、F 45で指定された政策領域の政策案からランダムに割り振られた政策的選択肢
値とカテゴリー	F 411と同じ
質問番号	Q2.4

資 料

F 46	コンジョイント削減パッケージ項目 6 のインディケータ (1 回目)
	福祉引き下げ型改革のコンジョイント実験 (1 回目) の案 A と案 B を回答者に提示する際に、第 6 項目に適用された政策領域
値とカテゴリー	F 11 と同じ
質問番号	Q 2.4
F 416	コンジョイント削減パッケージ項目 6 (1 回目)
	福祉引き下げ型改革のコンジョイント実験 (1 回目) の案 A 項目 6 において、F 46 で指定された政策領域の政策案からランダムに割り振られた政策的選択肢
値とカテゴリー	F 411 と同じ
質問番号	Q 2.4
F 421	コンジョイント削減パッケージ項目 1 (1 回目)
	福祉引き下げ型改革のコンジョイント実験 (1 回目) の案 B 項目 1 において、F 41 で指定された政策領域の政策案からランダムに割り振られた政策的選択肢
値とカテゴリー	F 411 と同じ
質問番号	Q 2.4
F 422	コンジョイント削減パッケージ項目 2 (1 回目)
	福祉引き下げ型改革のコンジョイント実験 (1 回目) の案 B 項目 2 において、F 42 で指定された政策領域の政策案からランダムに割り振られた政策的選択肢
値とカテゴリー	F 411 と同じ
質問番号	Q 2.4
F 423	コンジョイント削減パッケージ項目 3 (1 回目)
	福祉引き下げ型改革のコンジョイント実験 (1 回目) の案 B 項目 3 において、F 43 で指定された政策領域の政策案からランダムに割り振られた政策的選択肢
値とカテゴリー	F 411 と同じ
質問番号	Q 2.4

福祉選好調査2023（2・完）（稗田・関・楊）

F 424	コンジョイント削減パッケージ項目4（1回目）
	福祉引き下げ型改革のコンジョイント実験（1回目）の案B項目4において、F 44で指定された政策領域の政策案からランダムに割り振られた政策的選択肢
値とカテゴリ	F 411と同じ
質問番号	Q2.4
F 425	コンジョイント削減パッケージ項目5（1回目）
	福祉引き下げ型改革のコンジョイント実験（1回目）の案B項目5において、F 45で指定された政策領域の政策案からランダムに割り振られた政策的選択肢
値とカテゴリ	F 411と同じ
質問番号	Q2.4
F 426	コンジョイント削減パッケージ項目6（1回目）
	福祉引き下げ型改革のコンジョイント実験（1回目）の案B項目6において、F 46で指定された政策領域の政策案からランダムに割り振られた政策的選択肢
値とカテゴリ	F 411と同じ
質問番号	Q2.4
F 51	コンジョイント削減パッケージ項目1のインディケータ（2回目）
	福祉引き下げ型改革のコンジョイント実験（2回目）の案Aと案Bを回答者に提示する際に、第1項目に適用された政策領域
値とカテゴリ	F 11と同じ
質問番号	Q2.4
F 511	コンジョイント削減パッケージ項目1（2回目）
	福祉引き下げ型改革のコンジョイント実験（2回目）の案A項目1において、F 51で指定された政策領域の政策案からランダムに割り振られた政策的選択肢
値とカテゴリ	F 411と同じ
質問番号	Q2.4

資 料

F 52	コンジョイント削減パッケージ項目 2 のインディケータ－（2 回目）
	福祉引き下げ型改革のコンジョイント実験（2 回目）の案 A と案 B を回答者に提示する際に、第 2 項目に適用された政策領域
値とカテゴリー	F 11 と同じ
質問番号	Q 2.4
F 512	コンジョイント削減パッケージ項目 2 （2 回目）
	福祉引き下げ型改革のコンジョイント実験（2 回目）の案 A 項目 2 において、F 52 で指定された政策領域の政策案からランダムに割り振られた政策的選択肢
値とカテゴリー	F 411 と同じ
質問番号	Q 2.4
F 53	コンジョイント削減パッケージ項目 3 のインディケータ－（2 回目）
	福祉引き下げ型改革のコンジョイント実験（2 回目）の案 A と案 B を回答者に提示する際に、第 3 項目に適用された政策領域
値とカテゴリー	F 11 と同じ
質問番号	Q 2.4
F 513	コンジョイント削減パッケージ項目 3 （2 回目）
	福祉引き下げ型改革のコンジョイント実験（2 回目）の案 A 項目 3 において、F 53 で指定された政策領域の政策案からランダムに割り振られた政策的選択肢
値とカテゴリー	F 411 と同じ
質問番号	Q 2.4
F 54	コンジョイント削減パッケージ項目 4 のインディケータ－（2 回目）
	福祉引き下げ型改革のコンジョイント実験（2 回目）の案 A と案 B を回答者に提示する際に、第 4 項目に適用された政策領域
値とカテゴリー	F 11 と同じ
質問番号	Q 2.4

福祉選好調査2023（2・完）（稗田・関・楊）

F 514	コンジョイント削減パッケージ項目4（2回目）
	福祉引き下げ型改革のコンジョイント実験（2回目）の案A項目4において、F 54で指定された政策領域の政策案からランダムに割り振られた政策的選択肢
値とカテゴリー	F 411と同じ
質問番号	Q2.4
F 55	コンジョイント削減パッケージ項目5のインディケータ（2回目）
	福祉引き下げ型改革のコンジョイント実験（2回目）の案Aと案Bを回答者に提示する際に、第5項目に適用された政策領域
値とカテゴリー	F 11と同じ
質問番号	Q2.4
F 515	コンジョイント削減パッケージ項目5（2回目）
	福祉引き下げ型改革のコンジョイント実験（2回目）の案A項目5において、F 55で指定された政策領域の政策案からランダムに割り振られた政策的選択肢
値とカテゴリー	F 411と同じ
質問番号	Q2.4
F 56	コンジョイント削減パッケージ項目6のインディケータ（2回目）
	福祉引き下げ型改革のコンジョイント実験（2回目）の案Aと案Bを回答者に提示する際に、第6項目に適用された政策領域
値とカテゴリー	F 11と同じ
質問番号	Q2.4
F 516	コンジョイント削減パッケージ項目6（2回目）
	福祉引き下げ型改革のコンジョイント実験（2回目）の案A項目6において、F 56で指定された政策領域の政策案からランダムに割り振られた政策的選択肢
値とカテゴリー	F 411と同じ
質問番号	Q2.4

資 料

F 521	コンジョイント削減パッケージ項目 1 (2 回目)
	福祉引き下げ型改革のコンジョイント実験 (2 回目) の案 B 項目 1 において、F 51 で指定された政策領域の政策案からランダムに割り振られた政策的選択肢
値とカテゴリー	F 411 と同じ
質問番号	Q 2.4
F 522	コンジョイント削減パッケージ項目 2 (2 回目)
	福祉引き下げ型改革のコンジョイント実験 (2 回目) の案 B 項目 2 において、F 52 で指定された政策領域の政策案からランダムに割り振られた政策的選択肢
値とカテゴリー	F 411 と同じ
質問番号	Q 2.4
F 523	コンジョイント削減パッケージ項目 3 (2 回目)
	福祉引き下げ型改革のコンジョイント実験 (2 回目) の案 B 項目 3 において、F 53 で指定された政策領域の政策案からランダムに割り振られた政策的選択肢
値とカテゴリー	F 411 と同じ
質問番号	Q 2.4
F 524	コンジョイント削減パッケージ項目 4 (2 回目)
	福祉引き下げ型改革のコンジョイント実験 (2 回目) の案 B 項目 4 において、F 54 で指定された政策領域の政策案からランダムに割り振られた政策的選択肢
値とカテゴリー	F 411 と同じ
質問番号	Q 2.4
F 525	コンジョイント削減パッケージ項目 5 (2 回目)
	福祉引き下げ型改革のコンジョイント実験 (2 回目) の案 B 項目 5 において、F 55 で指定された政策領域の政策案からランダムに割り振られた政策的選択肢
値とカテゴリー	F 411 と同じ
質問番号	Q 2.4

福祉選好調査2023（2・完）（稗田・関・楊）

F 526	コンジョイント削減パッケージ項目 6（2 回目）
	福祉引き下げ型改革のコンジョイント実験（2 回目）の案 B 項目 6 において、F 56 で指定された政策領域の政策案からランダムに割り振られた政策的選択肢
値とカテゴリー	F 411 と同じ
質問番号	Q 2.4
F 61	コンジョイント削減パッケージ項目 1 のインディケータ（3 回目）
	福祉引き下げ型改革のコンジョイント実験（3 回目）の案 A と案 B を回答者に提示する際に、第 1 項目に適用された政策領域
値とカテゴリー	F 11 と同じ
質問番号	Q 2.4
F 611	コンジョイント削減パッケージ項目 1（3 回目）
	福祉引き下げ型改革のコンジョイント実験（3 回目）の案 A 項目 1 において、F 61 で指定された政策領域の政策案からランダムに割り振られた政策的選択肢
値とカテゴリー	F 411 と同じ
質問番号	Q 2.4
F 62	コンジョイント削減パッケージ項目 2 のインディケータ（3 回目）
	福祉引き下げ型改革のコンジョイント実験（3 回目）の案 A と案 B を回答者に提示する際に、第 2 項目に適用された政策領域
値とカテゴリー	F 11 と同じ
質問番号	Q 2.4
F 612	コンジョイント削減パッケージ項目 2（3 回目）
	福祉引き下げ型改革のコンジョイント実験（3 回目）の案 A 項目 2 において、F 62 で指定された政策領域の政策案からランダムに割り振られた政策的選択肢
値とカテゴリー	F 411 と同じ
質問番号	Q 2.4

資 料

F 63	コンジョイント削減パッケージ項目3のインディケータ－（3回目）
	福祉引き下げ型改革のコンジョイント実験（3回目）の案Aと案Bを回答者に提示する際に、第3項目に適用された政策領域
値とカテゴリー	F11と同じ
質問番号	Q2.4
F 613	コンジョイント削減パッケージ項目3（3回目）
	福祉引き下げ型改革のコンジョイント実験（3回目）の案A項目3において、F63で指定された政策領域の政策案からランダムに割り振られた政策的選択肢
値とカテゴリー	F411と同じ
質問番号	Q2.4
F 64	コンジョイント削減パッケージ項目4のインディケータ－（3回目）
	福祉引き下げ型改革のコンジョイント実験（3回目）の案Aと案Bを回答者に提示する際に、第4項目に適用された政策領域
値とカテゴリー	F11と同じ
質問番号	Q2.4
F 614	コンジョイント削減パッケージ項目4（3回目）
	福祉引き下げ型改革のコンジョイント実験（3回目）の案A項目4において、F64で指定された政策領域の政策案からランダムに割り振られた政策的選択肢
値とカテゴリー	F411と同じ
質問番号	Q2.4
F 65	コンジョイント削減パッケージ項目5のインディケータ－（3回目）
	福祉引き下げ型改革のコンジョイント実験（3回目）の案Aと案Bを回答者に提示する際に、第5項目に適用された政策領域
値とカテゴリー	F11と同じ
質問番号	Q2.4

福祉選好調査2023（2・完）（稗田・関・楊）

F 615	コンジョイント削減パッケージ項目5（3回目）
	福祉引き下げ型改革のコンジョイント実験（3回目）の案A項目5において、F65で指定された政策領域の政策案からランダムに割り振られた政策的選択肢
値とカテゴリー	F 411と同じ
質問番号	Q2.4
F 66	コンジョイント削減パッケージ項目6のインディケータ（3回目）
	福祉引き下げ型改革のコンジョイント実験（3回目）の案Aと案Bを回答者に提示する際に、第6項目に適用された政策領域
値とカテゴリー	F 11と同じ
質問番号	Q2.4
F 616	コンジョイント削減パッケージ項目6（3回目）
	福祉引き下げ型改革のコンジョイント実験（3回目）の案A項目6において、F66で指定された政策領域の政策案からランダムに割り振られた政策的選択肢
値とカテゴリー	F 411と同じ
質問番号	Q2.4
F 621	コンジョイント削減パッケージ項目1（3回目）
	福祉引き下げ型改革のコンジョイント実験（3回目）の案B項目1において、F61で指定された政策領域の政策案からランダムに割り振られた政策的選択肢
値とカテゴリー	F 411と同じ
質問番号	Q2.4
F 622	コンジョイント削減パッケージ項目2（3回目）
	福祉引き下げ型改革のコンジョイント実験（3回目）の案B項目2において、F62で指定された政策領域の政策案からランダムに割り振られた政策的選択肢
値とカテゴリー	F 411と同じ
質問番号	Q2.4

資 料

F 623	コンジョイント削減パッケージ項目 3 (3 回目)
	福祉引き下げ型改革のコンジョイント実験 (3 回目) の案 B 項目 3 において、F 63 で指定された政策領域の政策案からランダムに割り振られた政策的選択肢
値とカテゴリー	F 411 と同じ
質問番号	Q2.4
F 624	コンジョイント削減パッケージ項目 4 (3 回目)
	福祉引き下げ型改革のコンジョイント実験 (3 回目) の案 B 項目 4 において、F 64 で指定された政策領域の政策案からランダムに割り振られた政策的選択肢
値とカテゴリー	F 411 と同じ
質問番号	Q2.4
F 625	コンジョイント削減パッケージ項目 5 (3 回目)
	福祉引き下げ型改革のコンジョイント実験 (3 回目) の案 B 項目 5 において、F 65 で指定された政策領域の政策案からランダムに割り振られた政策的選択肢
値とカテゴリー	F 411 と同じ
質問番号	Q2.4
F 626	コンジョイント削減パッケージ項目 6 (3 回目)
	福祉引き下げ型改革のコンジョイント実験 (3 回目) の案 B 項目 6 において、F 66 で指定された政策領域の政策案からランダムに割り振られた政策的選択肢
値とカテゴリー	F 411 と同じ
質問番号	Q2.4

7 教示操作チェック (Instructional Manipulation Checks)

7.1 IMC1 (Q4.1の直後に)

現代の意思決定理論のほとんどは、意思決定は真空の中で行われるものではないという事実を認識しています。個人の好みや知識は、他の状況とともに、意思決定プロセスに大きな影響を与える可能性があります。意思決定に関する研究を促進するために、私たちは意思決定者であるあなたについて、ある要素を知りたいと考えています。そうでな

福祉選好調査2023（2・完）（稗田・関・楊）

ければ、質問文への回答に依拠する私たちの調査は効果がないものになるからです。ですから、あなたが指示を読んでいるなら、「次の意見にどの程度賛同しますか。あなたのお考えに近い選択肢を選んでください。」という教示を無視して、以下の項目のいずれにもチェックせずに（つまりどの選択肢もクリックせずに）右下の矢印のボタンを押して次のページに進んでください。ありがとうございました。

次の意見にどの程度賛同しますか。

あなたのお考えに近い選択肢を選んでください。

日本では自助ばかりが強調され、共助と公助が不足している。

強く反対

反対

賛成

強く賛成

警告文

【注意】

あなたは先ほどの質問において「以下の項目のいずれにもチェックせずに次のページに進んでください」という教示文を読み飛ばし、次のページに進もうとしました。

このような設問を読み飛ばそうとする行為は、調査結果の妥当性、そして学術的研究を行うための調査としての価値を著しく毀損することが知られています。以降の設問では、文章や選択肢にきちんと目を通したうえでご回答いただきますよう、よろしくお願ひします。

同意画面にて記載した通り、再度設問項目を読み飛ばすような事態が生じた場合、途中で調査を終了させていただく場合がございます。この点、ご了承くださいませよう、お願ひ申し上げます。

設問に目を通すことに同意し、次に進む。

資 料

7.2 IMC2 (Q5.2の直後に)

次の政治的知識についての選択肢については、「あまり知識がない」を選んでください。

- まったく知識がない
- あまり知識がない
- かなり知識がある
- 非常に知識がある

【遷移したページ】

あなたは先ほどの設問の「あまり知識がないという項目を選んでください」という指示に従われませんでした。大変申し訳ございませんが、同意フォームに記載したとおり、調査を終了させていただきます。ここまでの調査へのご協力、大変にありがとうございました。

「調査を終了する」を選択し、次の画面へお進みください。

調査を終了する

8 参考文献一覧

- Abou-Chadi, T. and Immergut, E.M. (2019) Recalibrating social protection: Electoral competition and the new partisan politics of the welfare state. *European Journal of Political Research* 58 (2): 697-719.
- Ares, M., Enggist, M., Häusermann, S. and Pinggera, M. (2022) Attitudinal consistency in citizens' social policy preferences. Zurich: University of Zurich.
- Beramendi, P., Häusermann, S., Kitschelt, H. and Kriesi, H. (eds) (2015) *The Politics of Advanced Capitalism*. New York: Cambridge University Press.
- Bledow, N. and Busemeyer, M. R. (2021) Lukewarm or enthusiastic supporters? Exploring union member attitudes towards social investment and compensatory policy. *Journal of European Social Policy* 31 (3): 267-281.
- Brazzill, M., Magara, H. and Yanai, Y. (2020) When voters favour the social investment welfare state. *Japanese Journal of Political Science* 21 (4): 194-205.
- Busemeyer, M.R. and Garritzmann, J.L. (2017a) Academic, vocational or general? An (法雑'24) 71-2-236 (418)

- analysis of public opinion towards education policies with evidence from a new comparative survey. *Journal of European Social Policy* 27 (4): 373-386.
- Busemeyer, M.R. and Garritzmann, J.L. (2017b) Public opinion on policy and budgetary trade-offs in European welfare states: Evidence from a new comparative survey. *Journal of European Public Policy* 24 (6): 871-889.
- Busemeyer, M.R., Garritzmann, J.L. and Neimanns, E. (2020) *A Loud But Noisy Signal? Public Opinion and Education Reform in Western Europe*. Cambridge, UK: Cambridge University Press.
- Busemeyer, M.R., Garritzmann, J.L., Neimanns, E. and Nezi, R. (2018) Investing in education in Europe: Evidence from a new survey of public opinion. *Journal of European Social Policy* 28 (1): 34-54.
- Esping-Andersen, G. (2002) *Why We Need a New Welfare State*. Oxford: Oxford University Press.
- Esping-Andersen, G. (2009) *Incomplete Revolution: Adapting Welfare States to Women's New Roles*. Cambridge: Polity Press.
- European Social Survey (2018) ESS Round 8: European Social Survey Round 8 Data (2016/2017) Edition 2. 0. Available at: <http://www.europeansocialsurvey.org/>, accessed 8 June 2018.
- Garritzmann, J.L., Busemeyer, M.R. and Neimanns, E. (2018) Public demand for social investment: New supporting coalitions for welfare state reform in Western Europe? *Journal of European Public Policy* 25 (6): 844-861.
- Garritzmann, J.L., Häusermann, S. and Palier, B. (eds) (2022a) *The World Politics of Social Investment: Volume I: Welfare States in the Knowledge Economy*. Oxford: Oxford University Press.
- Garritzmann, J.L., Häusermann, S. and Palier, B. (eds) (2022b) *The World Politics of Social Investment: Volume II: The Politics of Varying Social Investment Strategies*. Oxford: Oxford University Press.
- Garritzmann, J.L., Neimanns, E. and Busemeyer, M.R. (2023) Public opinion towards welfare state reform: The role of political trust and government satisfaction. *European Journal of Political Research* 62 (1): 197-220.
- Garritzmann, J.L. and Schwander, H. (2021) Gender and attitudes towards welfare state reform: Are women really social investment promoters? *Journal of European Social*

- Policy* 31 (3): 253-266.
- Häusermann, S., Ares, M., Enggist, M. and Pinggera, M. (2020) Mass public attitudes on social policy priorities and reforms in Western Europe. WELFAREPRIORITIES dataset 2020. Zurich: University of Zurich.
- Häusermann, S. and Kurer, T. (2022) Automation risk, social policy preferences, and political participation. In: MR Busemeyer, A Kemmerling, P Marx, et al. (eds) *Digitalization and the Welfare State*. Oxford: Oxford University Press, 139-156.
- Häusermann, S., Kurer, T. and Zollinger, D. (2023) Aspiration Versus Apprehension: Economic Opportunities and Electoral Preferences. *British Journal of Political Science* 53 (4): 1230-1251.
- Häusermann, S., Pinggera, M., Ares, M. and Enggist, M. (2022) Class and social policy in the knowledge economy. *European Journal of Political Research* 61 (2): 462-484.
- Hemerijck, A. (2013) *Changing Welfare States*. Oxford: Oxford University Press.
- Hemerijck, A. (2015) The quiet paradigm revolution of social investment. *Social Politics* 22 (2): 242-256.
- Hemerijck, A. (2017) *The Uses of Social Investment*. Oxford: Oxford University Press.
- Hooghe, L., Marks, G. and Wilson, C.J. (2002) Does left/right structure party positions on European integration? *Comparative Political Studies* 35 (8): 965-989.
- ISSP Research Group (2016) International Social Survey Programme 2016: Role of Government V (ISSP 2016). Available at: <http://www.issp.org/>, accessed 1 August 2022.
- Kitschelt, H. (1994) *The Transformation of European Social Democracy*. Cambridge: Cambridge University Press.
- Kitschelt, H. (1995) *The Radical Right in Western Europe: A Comparative Analysis*. Ann Arbor: University of Michigan Press.
- Kitschelt, H. (2004) *Diversification and Reconfiguration of Party Systems in Postindustrial Democracies*. Bonn: Digital Library Friedrich Ebert Stiftung.
- Kriesi, H., Grande, E., Dolezal, M., Helbling, M., Höglinger, D., Hutter, S. and Wüest, B. (2012) *Political Conflict in Western Europe*. Cambridge: Cambridge University Press.
- Kriesi, H., Grande, E., Lachat, R., Dolezal, M., Bornschie, S. and Frey, T. (2006) Globalization and the transformation of the national political space: Six European (法雜'24) 71—2—238 (420)

- countries compared. *European Journal of Political Research* 45 (6): 921-956.
- Kriesi, H., Grande, E., Lachat, R., Dolezal, M., Bornschieer, S. and Frey, T. (2008) *West European Politics in the Age of Globalization*. Cambridge: Cambridge University Press.
- Marks, G., Attewell, D., Rovny, J. and Hooghe, L. (2020) Cleavage Theory. In: M Riddervold, J Trondal and A Newsome (eds) *The Palgrave Handbook of EU Crises*. Cham, Switzerland: Palgrave, 173-193.
- Morel, N., Palier, B. and Palme, J. (eds) (2012) *Towards a Social Investment Welfare State?: Ideas, Policies and Challenges*. Bristol: Policy Press.
- Neimanns, E., Busemeyer, M.R. and Garritzmann, J.L. (2018) How popular are social investment policies really? Evidence from a survey experiment in eight Western European countries. *European Sociological Review* 34 (3): 238-253.
- OECD (1981) *The Welfare State in Crisis: An Account of the Conference on Social Policies in the 1980s*. Paris: Organisation for Economic Co-operation and Development.
- Oppenheimer, D.M., Meyvis, T. and Davidenko, N. (2009) Instructional manipulation checks: Detecting satisficing to increase statistical power. *Journal of Experimental Social Psychology* 45 (4): 867-872.
- Taylor-Gooby, P. (ed) (2004) *New Risks, New Welfare: The Transformation of the European Welfare State*. Oxford: Oxford University Press.